平成25年版

消 防 年 報

筑紫野太宰府消防組合消防本部

は　し　が　き

　この年報は、筑紫野市・太宰府市の消防力の現況及び平成２５年中の消防防災活動状況を取りまとめたものです。

　消防関係はもとより、あらゆる方面で広く御活用いただければ幸いです。

　なお、この年報中「年」とあるのは、暦年（１月～１２月）を表し、「年度」とあるのは、会計年度（４月～翌年３月）で「○年○月○日」とあるのは、調査年月日を表しています。

　統計表及び統計図の数値は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入しています。したがって、総比率が 100%とならない場合があります。

　平成２６年２月

筑紫野太宰府消防組合消防本部

目　　次

はしがき

筑紫野太宰府消防組合の概要……1

筑紫野太宰府消防組合の沿革……3

1. 組織及び人員……3

2. 消防行政……5

3. 庁　舎……6

4. 機械及び車両……7

5. 筑紫野太宰府消防組合消防機構……12

6. 消防本部及び署所の所在地……16

7. 消防本部･署事務分掌……17

8. 筑紫野太宰府消防組合消防機関配置図……21

総 務 編

庶　務

1. 歴代消防長……22

2. 職員の階級別現員数……22

3. 職員年齢調……22

4. 職員の勤続年数……22

5. 職員の配置状況……23

6. 教養委託実施状況……24

7. 職員の任用状況……24

会　計

1. 平成 25 年度消防組合一般会計決算額(見込み)……25

消防団編

筑紫野市

1. 歴代消防団長……26

2. 消防団員の階級別定員数(条例定員数)……26

3. 消防団員階級別実員数……26

4. 消防団員年齢及び勤続年数……26

5. 消防団機械台数……27

6. 消防団機械配置状況……27

7. 消防団機械の車齢……27

8. 消防団現有消防自動車調……27

9. 消防団員報酬及び諸手当……28

10. 火災出動台数及び人員……28

太宰府市

1. 歴代消防団長……29

2. 消防団員の階級別定員数(条例定員数)……29

3. 消防団員階級別実員数……29

4.消防団員年齢及び勤続年数 29
5.消防団機械台数 30
6.消防団機械配置状況 30
7.消防団機械の車齢 30
8.消防団現有消防自動車調 30
9.消防団員報酬及び諸手当 31
10.火災出動台数及び人員 31
予 防 編
1.予防の概要 32
2.防火対象物一覧表 33
3.防火対象物別･月別建築同意件数調 34
4.消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届受付状況 35
5.中高層建築物の現況 36
6.防火クラブの現況 37
7.消防広報 38
8.避難訓練実施状況 38
9.甲種防火管理講習会受講者数調 38
10.各種届出事務取扱状況 39
11.危険物施設数 40
12.危険物施設区分比 40
13.過去5年間の危険物施設状況 40
14.危険物施設別の貯蔵取扱量 41
15.危険物施設の許認可・届出状況 41
16.危険物施設の手数料収入調 42
警 防 編
1.警防業務の概要 43
2.消防本部･署所別配置車両 44
3.車両出動状況 45
4.救助器具及び消防用資機材現有状況 46
5.水利現況 48
6.月別気象状況 48
7.応援協定 49
火 災 編
1.火災の概要 50
2.火災種別及び建物火災の損害額３ヶ年比較 51
3.平成25年火災概要 52
4.覚知別火災概要 53
5.月・日別火災発生件数 54
6.月・曜日別火災発生概況 55
7.出火原因別火災発生概況 57
救 急 編

1.救急業務の現況 ･･59
2.救急概要 ･･60
3.月別救急活動状況 ･･･61
4.曜日別救急活動状況 ･･･61
5.時間別出場状況 ･･･62
6.時間別搬送人員状況 ･･･62
7.事故種別医療機関別搬送人員状況･････････････････････････････････63
8.救急隊員の行った応急処置 ･･･････････････････････････････････････64
9.口頭指導実施状況 ･･64
救 助 編
1.救助業務の現況 ･･65
2.事故種別救助活動状況 ･･･66
3.事故種別・発生場所別出動状況･････････････････････････････････････66
4.事故種別・発生場所別救助活動状況･････････････････････････････････67
5.事故種別・出動人員・活動人員状況･････････････････････････････････67
通 信 編
1.通信業務の概要 ･･68
2.消防緊急通信指令システム系統図･･･････････････････････････････････69
3.無線施設一覧表 ･･70
4.119 総受信状況･･･72
5.回線別 119 受信状況 ･･72
6.各回線月別受信状況 ･･･73
7.病院問い合わせ状況 ･･･74

筑紫野太宰府消防組合概要

位置・地形及び気象

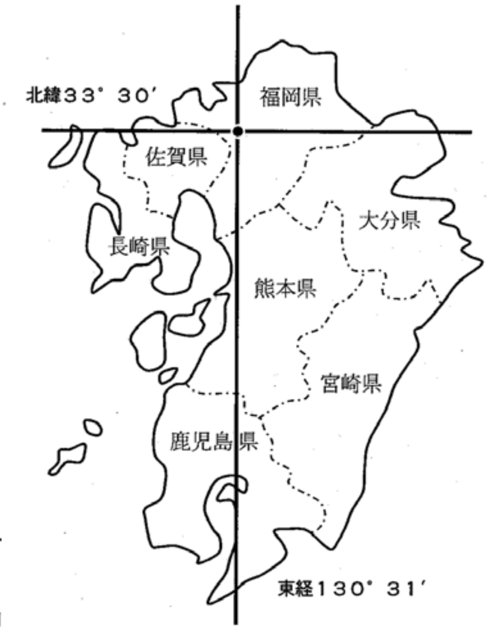
当消防組合は、福岡県南西部の筑紫野市及び太宰府市の２市により構成され、福岡都市圏の南部に位置しています。

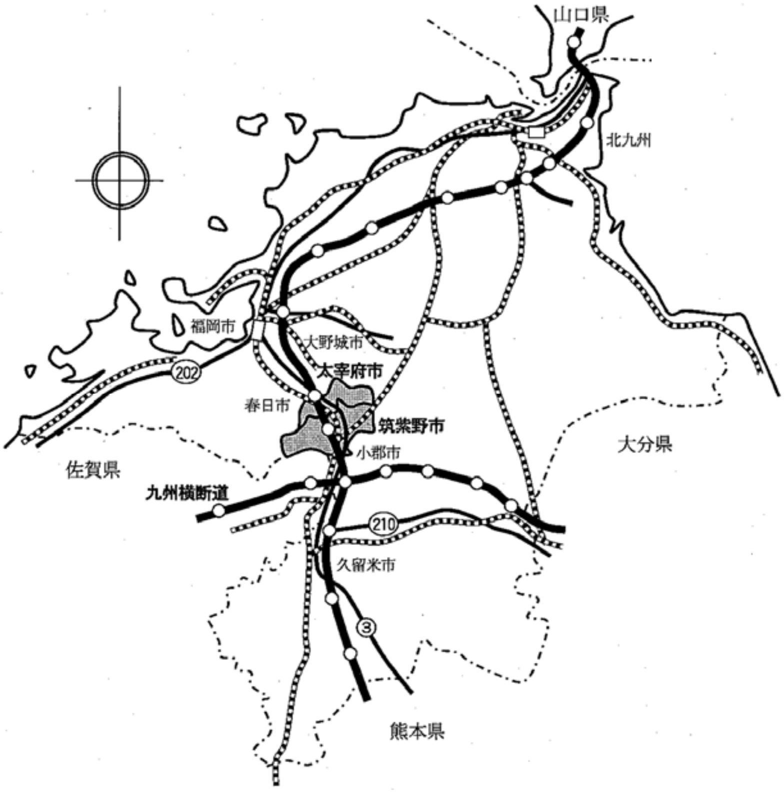
地形的には、北東側は三郡山系を経て糟屋郡・飯塚市へ、西側は背振山系を経て佐賀県に接しており、北西部は、大野城市・春日市を経て政令指定都市福岡市に通じ、南部は小郡市を経て商工業都市久留米市に通じています。

東西１５．６㎞、南北１４．１㎞、総面積１１７．３６ｋ㎡で両市の中心部は市街地が密集し、西に二日市温泉や、九州で最古の寺といわれている武蔵寺、北に学問の神様として有名な太宰府天満宮、古代の西海道（九州地方）を治めた地方最大の役所・大宰府跡、また歴史的遺産が豊富な太宰府市に、九州国立博物館が平成１６年４月に完成し、平成１７年１０月から一般公開され、地域はもとより広く九州への文化的影響は多大なものになると期待されています。

交通体系は、ＪＲ鹿児島本線･筑豊本線、西鉄天神大牟田線・太宰府線、国道３号線・２００号線、冷水有料道路、県道久留米基山筑紫野線、九州自動車道筑紫野インターチェンジ、更に福岡都市圏の玄関口である太宰府インターチェンジと福岡都市高速道路が直結され、管内と福岡市の都心との交通網が整備されるなど、九州の交通の要衝地となっています。また、両市は福岡都市圏としての地理的条件とも相まって、近年丘陵地の土地開発や流通拠点都市として飛躍的に発展するとともに、恵まれた自然環境を背景とした「歴史とみどり豊かな文化のまち」及び「住みよい街から住みたくなる街へ」の都市づくりを目指しています。

気候は比較的に温暖であり昨年の平均気象は、気温１６．９℃　湿度７９．４% 風速１．４m/S 年間総雨量２，０７０．５㎜となっています。





面積・人口及び世帯数（平成25年12月31日）

項目 / 市別	人　口 （人）	世帯数 （世帯）	面　積 （k㎡）
筑紫野市	102,233	41,992	87.78
太宰府市	71,234	30,004	29.58
合　計	173,467	71,996	117.36

筑紫野太宰府消防組合の沿革

1　組織及び人員

昭和40年 4月 1日	政令指定　筑紫野町に対して、消防組織法第10条に基づく、消防本部設置の政令指定を受ける。
昭和41年10月 1日	消防本部の設置　筑紫野町条例制定により、筑紫野町消防本部及び消防署の位置、消防長以下22人の定員をもって発足
昭和42年 4月 1日	3人採用　　定数条例を改正し3人増員、総員25人となる。
昭和43年 4月 1日	3人採用　　定数条例を改正し3人増員、総員28人となる。
昭和44年 4月 1日	3人採用　　定数条例を改正し3人増員、総員31人となる。
昭和44年11月 4日	消防組合設置許可申請　筑紫野町太宰府町消防組合の設立の件を県知事あて申請する。
昭和44年11月18日	消防組合設置許可　消防組合の設置許可を県知事より受ける。
昭和45年 4月 1日	消防組合発足　第１回消防組合議会を開催し、消防組合消防本部及び消防署の組織機構を決定する。（筑紫野町太宰府町消防組合）2課、4係、1署、1分署。定員46人で業務を開始する。（筑紫野町消防本部からの採用31人、新規採用15人）
昭和46年 4月 1日	4人採用　　定数条例を改正し4人増員、総員50人となる。
昭和47年 4月 1日	消防組合名称変更　筑紫野町の市制施行により消防組合の名称を筑紫野太宰府消防組合と改める。警防課に救急係を設置。2課、5係、1署、1分署となる。
	7人採用　　定数条例を改正し7人増員、総員57人となる。
昭和48年 4月 1日	1人採用　　定数条例を改正し1人増員、総員58人となる。
昭和48年 7月 1日	1人採用　　定数条例を改正し1人増員、総員59人となる。
昭和49年 4月 1日	3人採用　　定数条例を改正し3人増員、総員62人となる。
	機構改革　　予防課設置、3課、5係、1署、1分署となる。
昭和50年 4月 1日	5人採用　　定数条例を改正し5人増員、総員67人となる。
昭和51年 4月 1日	2人採用　　定数条例を改正し2人増員、総員69人となる。
昭和52年 4月 1日	4人採用　　定数条例を改正し4人増員、総員73人となる。
昭和53年 4月 1日	筑紫南消防署を筑紫野消防署に名称変更するとともに太宰府分署を太宰府消防署へ昇格させる。
	消防本部機構改革　3課、6係、2署となる。
	4人採用　　定数条例を改正し4人増員、総員77人となる。
昭和54年10月 1日	4人採用　　定数条例を改正し4人増員、総員81人となる。
昭和55年 4月 1日	4人採用　　定数条例を改正し4人増員、総員85人となる。
昭和56年 4月 1日	2人採用　　定数条例を改正し2人増員、総員87人となる。
昭和57年 4月 1日	機構改革　　指令室に2係設置。3課、1室、8係、2署となる。
昭和59年 3月31日	1人退職　　定年退職

昭和60年 4月 1日	1人採用	欠員補充
昭和61年 1月15日	1人退職	依願退職
昭和61年 4月 1日	1人採用	欠員補充
昭和62年 3月31日	1人退職	定年退職
昭和63年 3月14日	1人退職	死亡退職
昭和63年 4月 1日	4人採用	2人欠員補充　定数条例を改正し2人増員、総員89人となる。
昭和63年 9月 1日	1人退職	依願退職
昭和63年10月 1日	1人採用	欠員補充
平成元年 3月31日	1人退職	定年退職
平成元年 4月 1日	1人採用	欠員補充
平成 2年 3月31日	1人退職	定年退職
平成 2年 4月 1日	1人採用	欠員補充
平成 2年12月31日	1人退職	依願退職
平成 3年 4月 2日	1人採用	欠員補充
平成 4年 4月 1日	4人採用	定数条例を改正し4人増員、総員93人となる。
平成 5年 4月 1日	4人採用	定数条例を改正し4人増員、総員97人となる。
		消防本部機構改革　指令課設置4課、8係、2署となる。
平成 6年 4月 1日	4人採用	定数条例を改正し4人増員、総員101人となる。
平成 7年 3月31日	1人退職	定年退職
平成 7年 4月 1日	3人採用	1人欠員補充　定数条例を改正し2人増員、総員103人となる。
平成 8年 4月 1日	4人採用	定数条例を改正し4人増員、総員107人となる。
平成 8年12月 1日	1人退職	依願退職
平成 9年 1月 1日	1人採用	欠員補充
平成 9年 3月31日	1人退職	定年退職
平成 9年 4月 1日	11人採用	定数条例を改正し10人増員、欠員補充1人。総員117人となる。
平成10年 3月20日	出張所開設	筑紫野消防署南出張所設置に伴い運用開始
平成10年 4月 1日	4人採用	定数条例を改正し4人増員、総員121人となる。
平成12年 3月31日	1人退職	定年退職
平成12年12月31日	1人退職	依願退職
平成13年 3月31日	1人退職	依願退職
平成13年 4月 1日	3人採用	欠員補充
平成14年 3月31日	1人退職	定年退職
平成14年 4月 1日	9人採用	定数条例を改正し8人増員、欠員補充1人。総員129人となる。
平成15年 3月31日	6人退職	定年退職
平成15年 4月 1日	10人採用	定数条例を改正し4人増員、欠員補充6人。総員133人となる。
平成16年 3月 1日	出張所開設	太宰府消防署東出張所設置に伴い運用開始
平成16年 3月31日	5人退職	定年退職4人、勧奨退職1人

平成16年 4月 1日	5人採用	欠員補充
平成17年 3月31日	1人退職	勧奨退職
平成17年 4月 1日	3人採用	定数条例を改正し2人増員、欠員補充1人。総員135人となる。
平成18年 3月31日	1人退職	依願退職
平成18年 4月 1日	1人採用	欠員補充
平成18年 7月31日	1人退職	依願退職
平成18年10月 1日	1人採用	欠員補充
平成19年 3月31日	5人退職	定年退職3人、勧奨退職2人
平成19年 4月 1日	5人採用	欠員補充　定数条例を改正し3人増員、定数138人となる。 (平成23年3月31日までの間は、6人を加えた数)
平成19年 8月 1日	1人採用	欠員補充　総員136人となる。
平成20年 3月31日	5人退職	定年退職4人、依願退職1人
平成20年 4月 1日	5人採用	欠員補充
平成20年 5月31日	1人退職	依願退職
平成20年 6月 1日	1人採用	欠員補充
平成21年 3月31日	6人退職	定年退職3人、勧奨退職3人
平成21年 4月 1日	9人採用	欠員補充　総員139人となる。
平成21年10月 1日	1人採用	欠員補充　総員140人となる。
平成22年 3月31日	6人退職	定年退職4人、勧奨退職2人
平成22年 4月 1日	9人採用	欠員補充　総員143人となる。
平成22年 6月16日	1人退職	依願退職
平成22年 7月 1日	1人採用	欠員補充
平成22年 7月16日	1人退職	依願退職
平成22年 7月31日	1人退職	依願退職
平成23年 3月31日	4人退職	定年退職3人、勧奨退職1人
平成23年 4月 1日	12人採用	定数条例を改正し８人増員４人欠員補充　、定数150人、総員149人となる。
平成23年 9月17日	1人退職	死亡退職　総員148人となる。
平成24年 3月31日	11人退職	定年退職11人
平成24年 4月 1日	4人採用	欠員補充　総員141人となる。
平成25年 3月31日	3人退職	定年退職3人
平成25年 4月 1日	5人採用	欠員補充　総員143人となる。

２　消防行政

昭和41年10月 1日	消防業務開始	筑紫野町消防本部、消防署設置に伴い、消防業務開始
昭和42年12月26日	自主救急業務開始	
昭和45年 4月 1日	消防組合発足	筑紫野町太宰府町消防組合発足に伴い、筑紫南消防署及び太宰

	府分署業務開始
昭和47年 4月 1日	救助業務開始　本署に救助分隊員6人を配置し、救助業務開始
昭和48年10月 1日	はしご隊発足　兼任はしご隊を筑紫南消防署に配置
昭和49年 4月 1日	専任救急隊配置　筑紫南消防署に専任救急隊6名を配置
昭和49年10月 1日	専任救助隊配置　筑紫南消防署に専任救助隊6名を配置
昭和50年 3月31日	高速救急隊配置　九州自動車道開通に伴い、高速救急隊を太宰府分署に兼任配置、業務開始
平成10年 3月20日	筑紫野消防署南出張所業務開始
平成10年 3月31日	九州自動車道筑紫野インターチェンジ供用開始
平成11年 3月 1日	福岡都市高速道路水城出入口供用開始
平成16年 3月 1日	太宰府消防署東出張所業務開始

３　庁　　舎

昭和41年10月 1日	筑紫野町役場北別館を仮庁舎として業務開始
昭和42年 5月31日	庁舎落成　　筑紫野町大字立明寺705番地の2に消防本部及び消防署落成
	敷地面積　　1,312平方メートル
	建築面積　　270平方メートル
	延面積　　　540平方メートル
昭和44年 6月23日	敷地購入　　庁舎敷地の拡張のため隣地990平方メートル購入
昭和45年 4月 1日	太宰府分署開設　太宰府町役場西別館を仮庁舎として業務開始
昭和45年 4月10日	消防本部に書類倉庫、水防倉庫、油脂庫を増設
昭和45年10月27日	太宰府分署落成　太宰府町大字通古賀114番地の1に庁舎落成
	敷地面積　　980平方メートル
	建築面積　　232.5平方メートル
	延面積　　　397.9平方メートル
昭和46年 6月 7日	消防長公舎用地購入　消防長公舎用地として筑紫野町大字石崎128番地に264平方メートルの敷地購入
昭和46年 6月15日	消防本部敷地拡張　県より本部に接していた里道の払下げを受け敷地に加え法面を石垣にする。
昭和46年 8月 5日	第二車庫落成　消防本部にスノーケル車専用としての車庫落成
	建築面積　　115.5平方メートル
昭和47年 4月10日	消防本部（署）訓練場用地購入　庁舎裏に990平方メートルの土地を購入。実技訓練場とする。
昭和50年 8月 9日	消防本部（署）庁舎増改築工事完成　消防本部　筑紫南消防署庁舎増改築完成　延面積　846平方メートル
昭和52年 6月10日	救助訓練塔落成　救助訓練用主塔、副塔、移動塔各1基設置
昭和55年 8月10日	太宰府消防署増改築工事完成　延面積　458.9平方メートル

昭和57年 3月27日	消防本部第2庁舎改築工事完成（1階 車庫、整備工場、2階 通信指令室、災害対策室、仮眠室、3階 会議室）延面積　415.13平方メートル
昭和58年12月24日	太宰府消防署庁舎増築及び訓練塔新築工事完成
昭和59年 3月24日	筑紫野消防署舗装工事完成
昭和62年10月22日	消防本部（署）庁舎補修工事
昭和62年11月28日	救助訓練用煙道完成
昭和63年 3月11日	消防長公舎敷地売却
平成 8年 3月 6日	消防本部第三庁舎建設用地購入筑紫野市土地開発公社から隣地622.74平方メートルを購入
平成 8年 3月19日	消防本部第三庁舎新築工事（1階 食堂、トレーニングルーム、2階 会議室）完成　延面積　393.71平方メートル
平成10年 3月16日	筑紫野消防署南出張所新築工事完成(1階 車庫、事務室、食堂、待機室、2階 仮眠室、トレーニングルーム、会議室) 敷地面積　1,456.55平方メートル、延面積　617.95平方メートル
平成14年 2月12日	太宰府消防署東出張所建設用地購入　1,235.2平方メートル
平成16年 1月30日	太宰府消防署東出張所新築工事完成(1階 車庫、事務室、2階 食堂、待機室、仮眠室、トレーニングルーム、会議室）延面積　634.45平方メートル
平成17年 1月30日	太宰府消防署裏車庫を改修　トレーニングルーム・喫煙室を設置
平成20年 6月26日	消防本部第三庁舎改修(1階 女性更衣室・トレーニングルーム) 延面積　95.73平方メートル
平成20年12月26日	消防本部来客者駐車場及び消防訓練用地購入　350.23平方メートル
平成22年12月 3日	太宰府消防署新築工事完成　(1階 車庫、事務室、会議室、2階 食堂、待機室、仮眠室、トレーニングルーム、指令課、指令センター、R階 訓練施設) 建築面積　844.85平方メートル 延面積　1719.68.平方メートル
平成24年 4月 6日	消防本部及び筑紫野消防署庁舎建設用地購入　422.84平方メートルを購入
平成25年 8月26日	消防本部及び筑紫野消防署解体に伴い仮設庁舎運用開始

４　機械及び車両

昭和42年 2月 1日	業務開始　筑紫野町消防団等から普通消防ポンプ自動車2台借用、乗用車1台購入
昭和42年 3月 8日	普通ポンプ自動車(日産)購入
昭和42年12月26日	武石外科病院から救急車(日産)の寄贈を受ける。
昭和43年 5月12日	日本損害保険協会から普通ポンプ自動車(日産)の寄贈を受ける。
昭和43年 8月20日	指令車(日産)購入
昭和45年 9月29日	小型動力消防ポンプ積載自動車(いすゞ)購入　太宰府分署に配置
昭和45年11月24日	水槽付ポンプ自動車(いすゞ)購入　太宰府分署に配置

昭和45年12月26日	化学消防ポンプ自動車(いすゞ)購入 本署に配置
昭和46年 1月 6日	日本生命保険協会より救急車(日産セドリックライトバン改造型)の寄贈を受け、本署に配置
昭和46年 4月 1日	筑紫地区危険物安全協会から普通乗用車(三菱)の寄贈を受け、消防長車として本部に配置
昭和46年 5月 1日	テレガイド (専用線5回線)購入
昭和46年 5月 1日	日本消防協会より広報車(三菱)の寄贈を受け、本部に配置
昭和46年 9月 1日	テレガイド5回線増設(合計10回線)
昭和46年11月 4日	消防救急一斉指令装置(NEC.FD-201型)設置
昭和47年 2月 1日	超短波無線電話陸上移動局購入
昭和47年 4月28日	エンジンカッター購入
昭和47年 5月14日	つくしライオンズクラブから救助工作車(日産)の寄贈を受け本署に配置
昭和48年 9月 7日	屈折はしご付消防ポンプ自動車(三菱16m級)購入 本署に配置
昭和49年 3月 1日	非常電源装置(300VA DC24V-AC100V8H)設置
昭和49年 4月20日	松原　稔氏より指令車(スバル)の寄贈を受け、本署に配置
昭和49年 4月27日	救命ボート(一式)、潜水器具(2組)購入 本署救助隊に配置
昭和49年 5月 1日	自動通報装置(RTS-102 [R] (筑紫野市湯町地区旅館19ヶ所) 設置
昭和50年 3月 1日	普通乗用車(トヨタ)購入 消防長車として本部に配置
昭和50年 5月 8日	救急車(トヨタ2B型)購入 太宰府分署に配置
昭和50年12月 9日	福岡県共済農業協同組合連合会から救急車(トヨタ2B型)の寄贈を受け、本署に配置
昭和51年 7月16日	自動二輪車(ホンダ)3台購入 本署に配置
昭和51年 9月 9日	普通消防ポンプ自動車(三菱)購入 本署に配置
昭和52年 3月17日	救急用無線電話装置設置(基地局1基、移動局2基)
昭和52年 6月30日	気象観測装置機器(日本エレクトリックインスルメント社FWS-7600型)設置
昭和52年 6月30日	草刈作業車(三菱)購入 本署に配置
昭和52年 8月 2日	指令車(日産)購入 本署に配置
昭和52年12月13日	救助用エアーソー購入 救助工作車に積載
昭和52年12月20日	福岡県共済農業協同組合連合会から救急車(トヨタ2B型)の寄贈を受け、本署に配置
昭和52年12月21日	㈱宇佐美から査察車(トヨタ)の寄贈を受け、本部に配置
昭和53年 2月28日	救助工作車(三菱)購入 筑紫野消防署に配置
昭和53年 3月17日	日本防火協会から防火号(日産)の寄贈を受け、本部に配置
昭和53年12月26日	救急用無線複信電話装置移動局1基購入
昭和54年 8月29日	草刈連絡車(トヨタ)購入　本部に配置
昭和54年10月19日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車(日産)の寄贈を受け、筑紫野消防署に配置

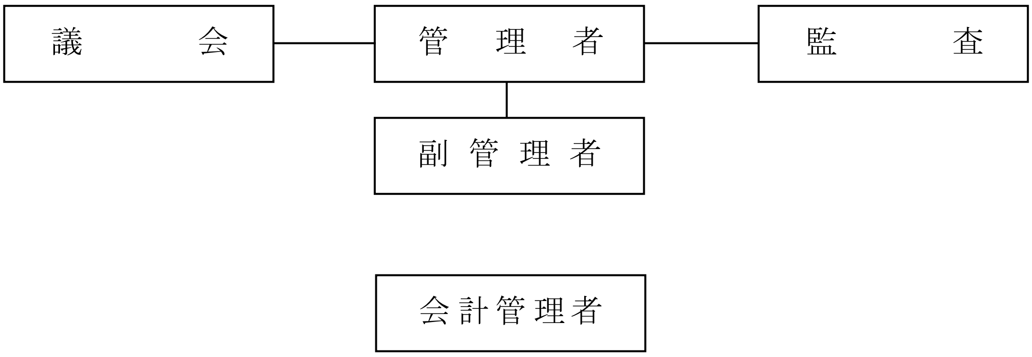
昭和54年12月26日	水槽付消防ポンプ自動車(三菱)購入 太宰府消防署に配置
昭和55年 5月28日	指令車(トヨタ)購入 筑紫野消防署に配置
昭和55年12月24日	宗教法人善隣会から乗用車(日産)の寄贈を受け、消防長車として本部に配置
昭和57年 3月27日	消防救急指令装置をB型に更新 緊急情報現示装置設置、消防救急無線統制台、超短波無線電話装置購入 超短波無線電話第4装置基地局設置
昭和57年12月15日	日本損害保険協会より救急車(日産シビリアン3B型)の寄贈を受け、筑紫野消防署に配置
昭和58年 6月28日	緊急連絡車(トヨタ)購入 筑紫野消防署に配置
昭和58年 8月19日	日本消防協会から救急車(トヨタ2B型)の寄贈を受け、太宰府消防署に配置
昭和58年11月16日	水槽付消防ポンプ自動車(三菱)購入 筑紫野消防署に配置
昭和59年 5月30日	緊急連絡車(日産)購入 太宰府消防署に配置
昭和59年 9月17日	マイクロバス(三菱P-BH214F型)購入 本部に配置
昭和60年 3月14日	気象観測装置(日本エレクトリックインスルメント社製FWS-7900ED)購入、通信指令室に設置
昭和60年 3月25日	本部(筑紫野消防署)訓練場に水銀照明設備を設置
昭和61年 2月28日	救急車(日産キャラバン2B型)購入 筑紫野消防署に配置
昭和61年 2月28日	査察車(日産)購入 本部に配置
昭和61年 3月17日	救助工作車(三菱)購入 筑紫野消防署に配置
昭和62年10月29日	日本自動車工業会から救急車(日産ホーミー2B型)の寄贈を受け、太宰府消防署に配置
昭和62年12月25日	普通消防ポンプ自動車(三菱)購入 太宰府消防署に配置
昭和63年 6月 8日	テレガイド増設(合計20回線)
昭和63年10月25日	指令車(日産)購入 太宰府消防署に配置
平成元年10月 6日	筑紫野消防署のはしご付消防ポンプ自動車(三菱38m級)更新 (25号車)
平成 2年 2月24日	予防課の防火号(トヨタ)更新
平成 2年 6月15日	警防課の資材搬送車(三菱)更新
平成 3年 3月29日	筑紫野消防署の救急車 (武石太兵衛氏寄贈 日産ホーミー2B型) 更新 (救急1)
平成 3年 8月17日	太宰府消防署の水槽付消防ポンプ自動車 (日本損害保険協会寄贈 日野)更新 (33号車)
平成 3年 8月30日	太宰府消防署の救急車(日本消防協会寄贈、日産キャラバン2B型)更新
平成 4年 2月 3日	太宰府消防署の消防ポンプ自動車(日野)更新 (32号車)
平成 4年 5月25日	救急用無線電話機(10W1基)購入
平成 4年 6月24日	消防用超短波無線機(10W1基)購入
平成 4年 6月25日	筑紫野消防署の指令車(いすゞ)更新 (21号車)
平成 4年 6月30日	消防長車(日産)更新
平成 5年 5月20日	総務課事務連絡車(日産)更新

平成 5年 6月15日	筑紫野消防署の緊急連絡車(日産)更新
平成 6年 7月 5日	筑紫野消防署査察車(28号車)、太宰府消防署調査車(37号車、38号車)購入
平成 6年12月21日	筑紫野消防署の水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)(日野)更新 (23号車)
平成 7年 3月31日	太宰府消防署の救急車(福岡県共済農業協同組合連合会寄贈･日産キャラバン2B型)更新 (救急6)
平成 7年 6月30日	予防課の査察車(日産)更新 (12号車)
平成 7年10月25日	総務課のマイクロバス(三菱) 更新(16号車)
平成 8年11月29日	筑紫野消防署救急車(筑紫ガス株式会社寄贈、日産キャラバン2B型)更新
平成 9年 1月21日	筑紫野消防署に小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型)(日野)配置 (27号車)
平成 9年 3月27日	消防緊急通信指令システム(NECⅡ型)更新
平成10年 3月 7日	筑紫野消防署南出張所に調査車(ダイハツ)配置 (58号車)
平成10年 3月10日	消防緊急通信指令システム端末機器購入 筑紫野消防署南出張所に配置。
平成10年 3月20日	筑紫野消防署南出張所に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)(日野)配置 (53号車)
平成11年 2月26日	筑紫野消防署に高規格救急車(日本自動車工業会寄贈、いすゞスーパーメディックス)配置 (救急1)
平成11年12月28日	太宰府消防署の指令車(トヨタ)更新 (31号車)
平成12年 3月 8日	太宰府消防署に高規格救急車(日産パラメデック)配置 (救急5)
平成13年 3月21日	筑紫野消防署の救助工作車(Ⅱ型)(日野)更新 (24号車)
平成13年11月30日	予防課の人員搬送車(日産)更新
平成13年12月17日	筑紫野消防署の消防ポンプ自動車 (Ⅱ型) (日野)更新 (22号車)
平成15年 2月 1日	太宰府消防署に高規格救急車 (トヨタハイメデック)配置 (救急6)
平成16年 2月20日	太宰府消防署東出張所に調査車(スバル)配置 (68号車)
平成16年 2月20日	太宰府消防署東出張所に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車配置(63号車)
平成16年 2月20日	太宰府消防署東出張所に高規格救急車(トヨタハイメデック)配置替 (救急6)
平成16年 7月17日	警防課の調査車(スバル)更新 (13号車)
平成17年 2月 4日	筑紫野消防署南出張所に高規格救急車(日産パラメディック)配置 (救急2)
平成17年 2月18日	太宰府消防署の水槽付消防ポンプ自動車(日野)更新 (33号車)
平成18年 2月24日	筑紫野消防署の高規格救急車(日産パラメディック)更新 (救急1)
平成18年 6月29日	警防課の調査車(トヨタ)更新 (13号車)
平成18年 6月29日	総務課に事務連絡車(スバル)配置替 (15号車)
平成18年12月18日	筑紫野消防署に現場指揮車 (日産) 配置 (21号車)
平成18年12月18日	筑紫野消防署に緊急連絡車(いすゞ)配置替 (20号車)
平成18年12月20日	消防無線防災相互波増波 (救急隊5局、携帯無線1局)
平成19年 6月20日	筑紫野消防署の査察車 (スバル) 更新 (28号車)
平成19年12月 8日	太宰府消防署の高規格救急車 (トヨタハイエース) 更新 (救急5)
平成19年12月 8日	太宰府消防署に高規格救急車(日産パラメデック)配置替(救急7)
平成19年12月17日	消防無線防災相互波増波 (支援隊5局)

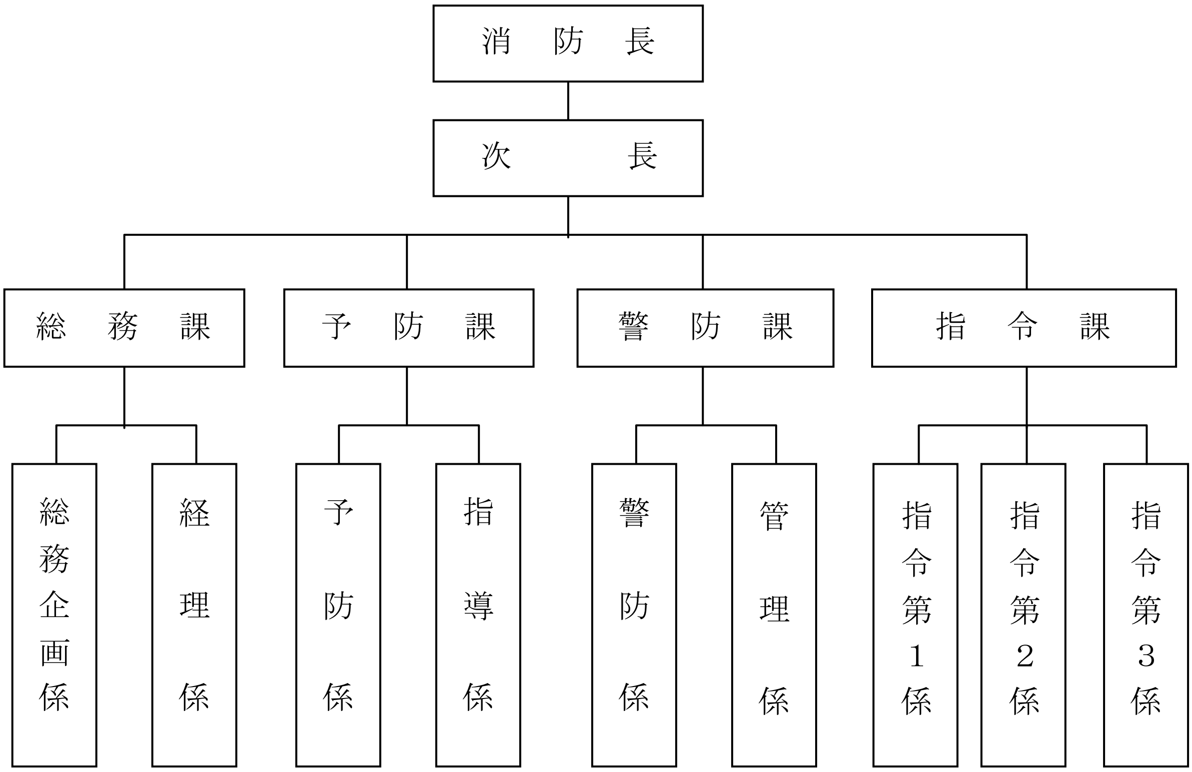
平成20年 2月14日	太宰府消防署の消防ポンプ自動車(三菱)更新(32号車)
平成20年11月25日	筑紫野消防署のはしご付消防自動車（日野35m級）更新（25号車）
平成21年 9月30日	太宰府消防署の調査車廃車（39号車）
平成21年12月10日	筑紫野消防署の水槽付消防ポンプ自動車（日野）更新（23号車）
平成22年 3月26日	太宰府消防署東出張所の高規格救急車(トヨタハイエース)更新(救急6)
平成22年12月24日	太宰府消防署に支援車Ⅰ型配置（総務省消防庁貸与）
平成23年 1月21日	太宰府消防署に調査車(三菱)配置（39号車）
平成23年 3月 6日	太宰府消防署に高機能消防指令システムⅡ型更新
平成23年 9月30日	予防課の査察車(日産)更新（12号車）
平成24年 1月23日	筑紫野消防署の高規格救急車（トヨタハイエース）更新（救急1）
平成24年10月 4日	消防長車(日産)を廃車し、人員搬送車（トヨタ）購入（17号車）
平成24年11月17日	太宰府消防署の高規格救急車（トヨタハイエース）更新（救急5）
平成25年 3月22日	筑紫野消防署南出張所の水槽付消防ポンプ自動車（日野)更新（53号車）
平成25年 4月17日	筑紫野消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野)配置替（26号車）
平成25年11月26日	太宰府消防署に現場指揮車（日産）配置（31号車）

５　筑紫野太宰府消防組合消防機構

消　防　組　合



消　防　本　部



消　防　署

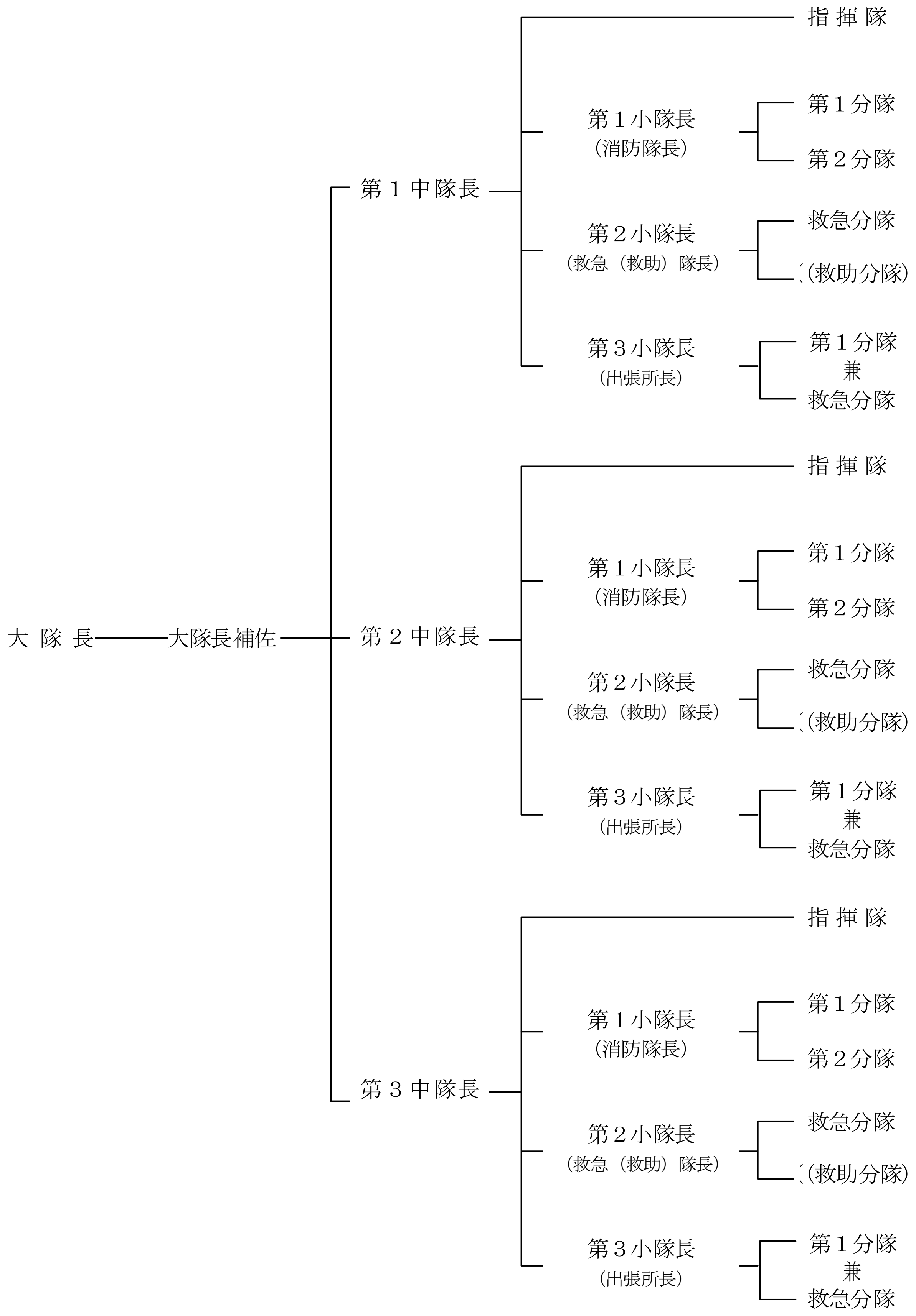
筑紫野消防署

- 署長
  - 警備第1課
    - 警備第1係
    - 警備第2係
    - 救急係
    - 南出張所
  - 警備第2課
    - 警備第1係
    - 警備第2係
    - 救急係
    - 南出張所
  - 警備第3課
    - 警備第1係
    - 警備第2係
    - 救急係
    - 南出張所

太宰府消防署

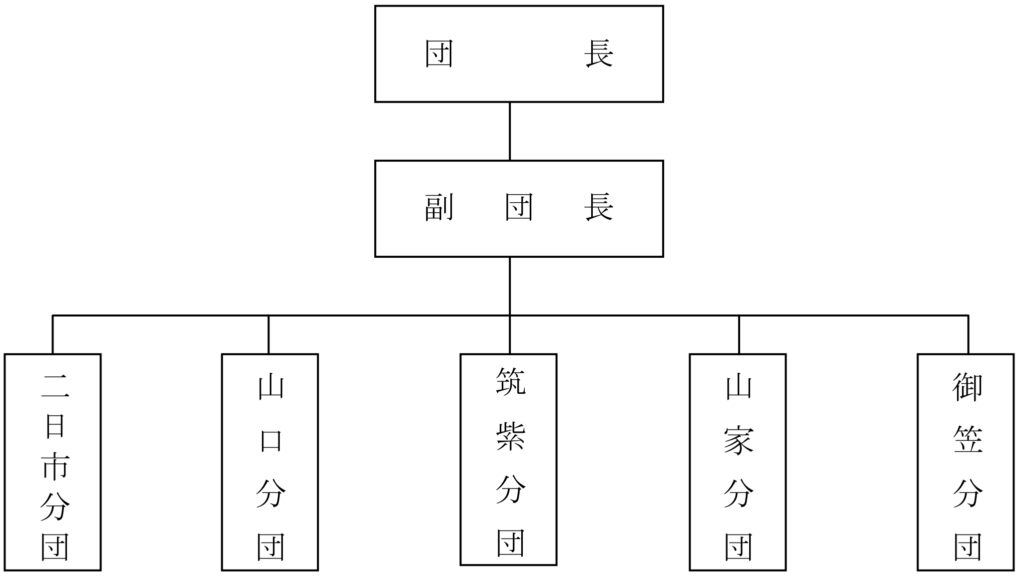
- 署長
  - 警備第1課
    - 警備第1係
    - 警備第2係
    - 救助係
    - 救急係
    - 東出張所
  - 警備第2課
    - 警備第1係
    - 警備第2係
    - 救助係
    - 救急係
    - 東出張所
  - 警備第3課
    - 警備第1係
    - 警備第2係
    - 救助係
    - 救急係
    - 東出張所

消　防　隊　編　成　表

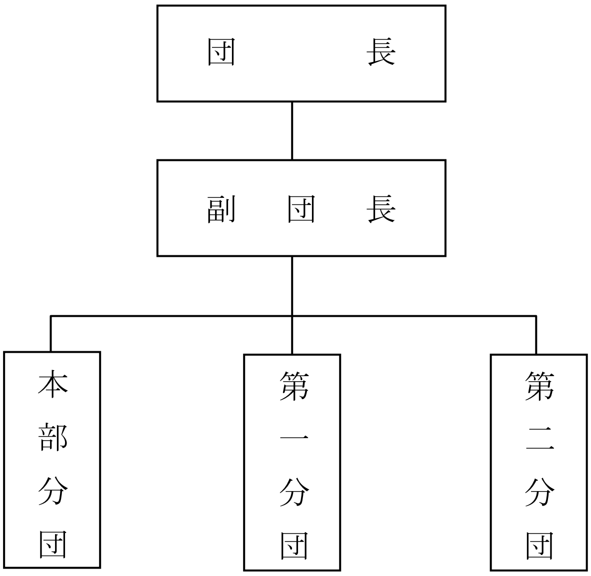

大 隊 長
大隊長補佐
第１中隊長
指 揮 隊
第１小隊長
（消防隊長）
第１分隊
第２分隊
第２小隊長
（救急（救助）隊長）
救急分隊
（救助分隊）
第３小隊長
（出張所長）
第１分隊
兼
救急分隊
第２中隊長
指 揮 隊
第１小隊長
（消防隊長）
第１分隊
第２分隊
第２小隊長
（救急（救助）隊長）
救急分隊
（救助分隊）
第３小隊長
（出張所長）
第１分隊
兼
救急分隊
第３中隊長
指 揮 隊
第１小隊長
（消防隊長）
第１分隊
第２分隊
第２小隊長
（救急（救助）隊長）
救急分隊
（救助分隊）
第３小隊長
（出張所長）
第１分隊
兼
救急分隊

消　防　団　編　成　表

筑紫野市消防団



太宰府市消防団



▲消防本部・筑紫野消防署庁舎

▲筑紫野消防署南出張所庁舎

▲太宰府消防署庁舎

▲太宰府消防署東出張所庁舎

６　消防本部及び署所の所在地

名　　　称	所　　　在　　　地	管 轄 区 域
筑紫野太宰府消防組合 消　　防　　本　　部	〒818-0084 筑紫野市針摺西一丁目１番１号	筑　紫　野　市 太　宰　府　市
筑　紫　野　消　防　署	〒818-0084 筑紫野市針摺西一丁目１番１号	筑　紫　野　市
筑紫野消防署南出張所	〒818-0024 筑紫野市原田四丁目１６番地１	筑　紫　野　市
太　宰　府　消　防　署	〒818-0101 太宰府市観世音寺二丁目１９番１９号	太　宰　府　市
太宰府消防署東出張所	〒818-0125 太宰府市五条一丁目１８番１２号	太　宰　府　市

7　消防本部･署事務分掌

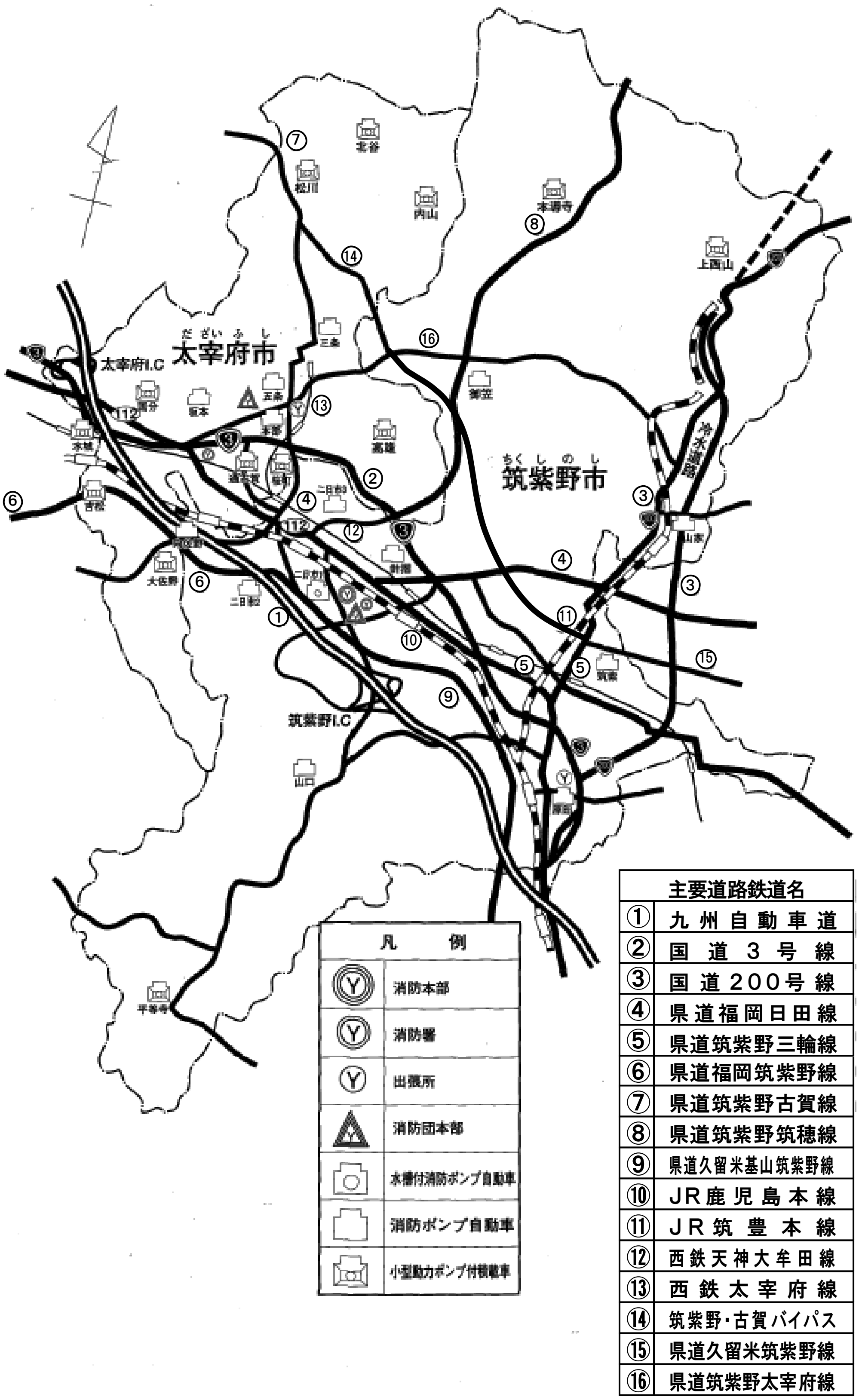
総務課	総務企画係	⑴　本部、課の庶務に関すること。 ⑵　消防事務事業の企画及び総合調整に関すること。 ⑶　職員の任免、服務、分限、懲戒、賞罰、その他身分に関すること。 ⑷　職員の人事に関すること。 ⑸　職員の教養、研修に関すること。 ⑹　職員の公務災害補償、共済組合及び賞じゅつに関すること。 ⑺　職員の退職年金、退職一時金及び退職手当に関すること。 ⑻　職員等の表彰に関すること。 ⑼　職員の福利厚生及び健康管理に関すること。 ⑽　条例、規則、規程及び告示並びに公告式に関すること。 ⑾　例規集の編集に関すること。 ⑿　儀式及び渉外に関すること。 ⒀　公印の管理に関すること。 ⒁　職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。 ⒂　文書の受付、配布及び管理に関すること。 ⒃　消防組合事務に関すること。 ⒄　消防組合議会に関すること。 ⒅　公平委員会に関すること。 ⒆　その他、他の課の主管に属しない事項。
	経理係	⑴　予算、決算その他財政一般に関すること。 ⑵　消防組合債及び国県補助金に関すること。 ⑶　契約に関すること。 ⑷　職員の被服に関すること。 ⑸　支出負担行為の確認に関すること。 ⑹　備品、消耗品に関すること。 ⑺　現金（現金に代えて納付される証券及び基金に属する現金を含む。）の出納及び保管に関すること。 ⑻　所得税の源泉徴収及び県市町村民税の特別徴収に関すること。 ⑼　職員の諸給与、諸手当、旅費の支払いに関すること。 ⑽　職員の児童手当に関すること。 ⑾　消防組合監査に関すること。 ⑿　その他経理に関すること。

予防課	予防係	⑴　課の庶務に関すること。 ⑵　危険物の規制に関すること。 ⑶　液化石油ガス、高圧ガスの保安指導に関すること。 ⑷　危険物施設等の査察計画及び実施に関すること。 ⑸　液化石油ガス販売事業許可の意見書交付に関すること。 ⑹　防災協会の育成に関すること。 ⑺　違反危険物の処理に関すること。 ⑻　その他危険物等の火災予防に関すること。
	指導係	⑴　火災予防運動の計画及び調整に関すること。 ⑵　建築同意等に関すること。 ⑶　防火思想の普及宣伝に関すること。 ⑷　建築物、工作物等の火災及び人命危険の予防措置に関すること。 ⑸　予防査察計画及び実施に関すること。 ⑹　消防用設備等の指導に関すること。 ⑺　違反防火対象物の処理に関すること。 ⑻　旅館、ホテルの意見書の交付に関すること。 ⑼　防炎処理の指導に関すること。 ⑽　防火管理者に関すること。 ⑾　自衛消防隊の育成、指導に関すること。 ⑿　防火基準適合表示制度に関すること。 ⒀　即時通報の登録に関すること。 ⒁　防火委員会及び運営指導協議会に関すること。 ⒂　その他火災予防に関すること。
警防課	警防係	⑴　課の庶務に関すること。 ⑵　職員の監察に関すること。 ⑶　消防力の整備に関すること。 ⑷　警備隊の配置及び運用に関すること。 ⑸　火災、その他の災害の警備計画の策定及び実施に関すること。 ⑹　消防演習及びその他の各種訓練、研修に関すること。 ⑺　火災の原因調査及び損害調査に関すること。 ⑻　火災、その他の災害統計及び消防情報に関すること。 ⑼　消防相互応援に関すること。 ⑽　その他警防に関すること。

警防課	管理係	⑴　消防機械装備器具の整備及び管理に関すること。 ⑵　機関員等の養成及び指導に関すること。 ⑶　救急救助業務の策定及び実施に関すること。 ⑷　救急救助の統計に関すること。 ⑸　庁舎の維持及び管理に関すること。 ⑹　財産の取得、管理及び処分に関すること。 ⑺　その他管理に関すること。
指令課	指令係	⑴　課の庶務に関すること。 ⑵　課の企画に関すること。 ⑶　消防通信及び指令業務に関すること。 ⑷　無線に関すること。 ⑸　福岡県防災行政無線に関すること。 ⑹　消防年報に関すること。 ⑺　救急医療に関すること。 ⑻　その他通信に関すること。
消防署	警備第１係	⑴　予防査察に関すること。 ⑵　防火思想の普及に関すること。 ⑶　少量危険物、指定可燃物に関すること。 ⑷　建築同意に関すること。 ⑸　催物、開催その他各種届出の処理に関すること。 ⑹　防火相談に関すること。 ⑺　その他予防業務に関すること。
	警備第２係	⑴　消防隊の運用に関すること。 ⑵　消防警備計画に関すること。 ⑶　水火災その他の災害の警戒防ぎょに関すること。 ⑷　地理水利調査に関すること。 ⑸　消防機械及び装備に関すること。 ⑹　催物等にかかわる警戒に関すること。 ⑺　被災証明に関すること。 ⑻　災害の調査及び報告に関すること。 ⑼　消防隊の通行、その他消防活動に支障をおよぼすおそれのある各種届出の処理に関すること。 ⑽　開発行為にかかわる協議に関すること。 ⑾　その他警備業務に関すること。

消防署	救急救助係	⑴　署の庶務に関すること。 ⑵　文書収発及び整理保存に関すること。 ⑶　公印の管理に関すること。 ⑷　職員の勤務及び教養に関すること。 ⑸　車両等の燃料管理に関すること。 ⑹　庁舎取り締まりに関すること。 ⑺　救急及び救助の業務計画の樹立並びに実施に関すること。 ⑻　救急隊及び救助隊の運用に関すること。 ⑼　救急及び救助の技術の研究並びに指導に関すること。 ⑽　救急及び救助用の資機材の整備に関すること。 ⑾　高層建築物の調査に関すること。 ⑿　救助技術指導会に関すること。
	救急係	⑴　署の庶務に関すること。 ⑵　文書収発及び整理保存に関すること。 ⑶　公印の管理に関すること。 ⑷　職員の勤務及び教養に関すること。 ⑸　車両等の燃料管理に関すること。 ⑹　庁舎取り締まりに関すること。 ⑺　救急業務計画の樹立並びに実施に関すること。 ⑻　救急隊の運用に関すること。 ⑼　救急技術の研究並びに指導に関すること。 ⑽　救急資器材の整備に関すること。
	出張所	⑴　前各号に掲げる事務分掌の一部を分掌する。

8　筑紫野太宰府消防組合消防機関配置図



主要道路鉄道名	
①	九州自動車道
②	国道３号線
③	国道２００号線
④	県道福岡日田線
⑤	県道筑紫野三輪線
⑥	県道福岡筑紫野線
⑦	県道筑紫野古賀線
⑧	県道筑紫野筑穂線
⑨	県道久留米基山筑紫野線
⑩	ＪＲ鹿児島本線
⑪	ＪＲ筑豊本線
⑫	西鉄天神大牟田線
⑬	西鉄太宰府線
⑭	筑紫野・古賀バイパス
⑮	県道久留米筑紫野線
⑯	県道筑紫野太宰府線

総　　務　　編

GENERAL　AFFAIRS

庶　　務

1　歴代消防長

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

代　位	氏　名	就任年月日	退任年月日
初代	小峰　晃	昭和 41 年 10 月 1 日	昭和 49 年 6 月 10 日
二代	高橋清美	昭和 49 年 6 月 11 日	昭和 59 年 3 月 31 日
三代	池上三郎	昭和 59 年 4 月 1 日	昭和 62 年 3 月 31 日
四代	梶原祐三	昭和 62 年 4 月 1 日	平成 2 年 12 月 31 日
五代	永冨準一	平成 3 年 4 月 2 日	平成 7 年 3 月 31 日
六代	西山義則	平成 7 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月 31 日
七代	小川澄人	平成 9 年 4 月 1 日	平成 14 年 3 月 31 日
八代	大西國博	平成 14 年 4 月 1 日	平成 16 年 3 月 31 日
九代	立石敬二	平成 16 年 4 月 1 日	平成 20 年 3 月 31 日
十代	高野和明	平成 20 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日
十一代	柴田信義	平成 23 年 4 月 1 日	平成 24 年 3 月 31 日
十二代	坂本久続	平成 24 年 4 月 1 日	現在に至る

2　職員の階級別現員数（階級別定員は定めていない）

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

階級	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	一般職員	合計
現員数		1	3	13	33	34	16	42	1	143

3　職員年齢調

（平成 25 年 4 月 1 日）

区分	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	一般職員	合計
30 歳未満						1	11	42		54
30 歳～40 歳未満					11	26	5		1	43
40 歳～50 歳未満				2	16	3				21
50 歳以上		1	3	11	6	4				25
計		1	3	13	33	34	16	42	1	143

4　職員の勤続年数

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区分	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	一般職員	合計
10 年未満						3	13	42		58
10 年～20 年未満					16	25	3		1	45
20 年～30 年未満				2	11	2				15
30 年以上		1	3	11	6	4				25
計		1	3	13	33	34	16	42	1	143

５　職員の配置状況

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区分			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	一般職員	合計
消防本部	消防長			1								1
	次長				1							1
	総務課	課長 課長補佐				1						1
		係長					2					2
		総務企画係						2				2
		経理係						2			1	3
		総務課付							1	1		2
	小計		0	1	1	1	2	4	1	1	1	12
	予防課	課長 課長補佐				1						1
		係長					2					2
		予防係						1				1
		指導係						1				1
	小計		0	0	0	1	2	2	0	0	0	5
	警防課	課長 課長補佐				1						1
		係長				1	2					3
		警防係						1				1
		管理係										0
	小計		0	0	0	2	2	1	0	0	0	5
	指令課	課長 課長補佐				1						1
		係長					3					3
		指令係						3	1			4
	小計		0	0	0	1	3	3	1	0	0	8
消防本部計			0	1	1	5	9	10	2	1	1	30
消防署	筑紫野署	署長			1							1
		課長 課長補佐				4						4
		係長					11					11
		庁舎建設担当						1				1
		警備第１係						3	2	8		13
		警備第２係						3		3		6
		救急係						1		5		6
		南出張所					1	3	2	4		10
	小計		0	0	1	4	12	11	4	20	0	52
	太宰府署	署長			1							1
		課長 課長補佐				4						4
		係長					12					12
		警備第１係						4		6		10
		警備第２係						2	3	4		9
		救助係						3	5	1		9
		救急係						2	1	4		7
		東出張所						2	1	6		9
	小計		0	0	1	4	12	13	10	21	0	61
消防署計			0	0	2	8	24	24	14	41	0	113
合計			0	1	3	13	33	34	16	42	1	143

６　教養委託実施状況

（平成 25 年度）

実施機関	区　分	科　　目（内　　容）	委託人数	研修期間
消防大学校	警防科	警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、警防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	1	10/23～12/11
福岡県消防学校	初任教育	新たに採用した消防職員の全てに対して行う基礎的教育訓練を行い、修了後、直ちに警防隊員として活動できる職員を養成する。	3	4/8～9/20
	警防実務研修	火災防ぎょを中心とした実科訓練を実施することにより、隊員としての防ぎょ活動及び機関運用能力を備えた職員を養成する。	1	4/22～4/26
	中級幹部科	中級幹部として、消防行政の動向を理解するとともに、迅速かつ的確な意志決定により、上司の補佐及び部下の指揮監督を行い、組織を管理運営できる職員を養成する。	1	5/7～5/15
	救助科	救助活動に係る最新の専門的知識及び専門的で高度な技能、技術を修得し、救助隊員として活動できる隊員を養成する。	1	6/3～6/28
	初級幹部科Ａ	分隊長（小隊長）として、必要な業務管理や現場指揮要領を修得させ、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。	1	7/22～7/26
	初級幹部科Ｂ	初級幹部として、旺盛な職務遂行の意欲にあふれ、消防行政の現状や課題を理解し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。	1	7/3～7/17
	特殊災害科	多数の傷病者を発生させるおそれが高く、消防活動に困難を伴う災害現場において、特に隊員の安全管理に配意しつつ、適切、効果的な消防戦術を指揮できる職員を養成する。	1	12/4～12/12
	救急科	救急医学に関する基礎知識に基づき、応急処置時における的確な観察・判断能力、応急処置に必要な専門的技能を修得し、救急隊員として活動できる職員を養成する。	3	9/26～11/14
			3	1/8～2/26
	火災調査科	火災原因調査に係る専門的知識及び技能を修得し、これらの知識を適切に活用して火災調査業務を適確に遂行できる職員を養成する。	1	3/3～3/14

７　職員の任用状況

（平成 25 年度）

区　分	合　計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	一般職員
採　用	5								5	
昇　任	13					5	2	6		
退　職	3				1	1	1			

会　計

１　平成２５年度消防組合一般会計決算額（見込み）

歳入			歳出		
科　目	決算額（千円）	構成比（%）	科　目	決算額（千円）	構成比（%）
1. 分担金及び負担金	1,496,608	71.9	1. 人件費	1,147,954	55.2
(1) 分担金	1,494,615	71.8	(1) 職員給	864,602	41.6
(2) 負担金	1,993	0.1	(2) 共済費等	283,352	13.6
2. 使用料及び手数料	500	0.0	2. 物件費	101,858	4.9
5. 財産収入	762	0.0	3. 扶助費	15,940	0.8
6. 繰越金	6,208	0.3	4. 補助費等	703.016	33.8
7. 諸収入	13,139	0.7	5. 普通建設事業費	9,576	0.5
8. 組合債	564,700	27.1	(1) 補助事業	0	0.0
			(2) 単独事業	9,576	0.5
			6. 公債費	99,735	4.8
			7. 積立金	30	0.0
合　計	2,081,917	100	合　計	2,078,109	100

消　防　団　編

VOLUNTEER　FIRECORP

筑　紫　野　市

１　歴代消防団長

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

歴　代	氏　名	就任年月日	退任年月日
初　代	山内　節次郎	昭和30年　3月　1日	昭和34年　3月31日
二　代	古賀　金三郎	昭和34年　4月　1日	昭和39年　3月31日
三　代	宮本　弥三郎	昭和39年　4月　1日	昭和43年　3月31日
四　代	大西　茂樹	昭和43年　4月　1日	昭和59年　8月21日
五　代	松尾　正次	昭和59年11月　1日	平成　5年　3月31日
六　代	長野　正義	平成　5年　4月　1日	平成　5年11月20日
七　代	畠添　重信	平成　5年12月　1日	平成　7年　3月18日
八　代	山口　邦光	平成　7年　4月　1日	平成12年　3月31日
九　代	萩尾　勝美	平成12年　4月　1日	平成 20 年 3 月 31 日
十　代	平山　弥榮	平成 20 年 4 月 1 日	現在に至る

２　消防団員の階級別定員数（条例定員数）

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区　分	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
本　部	1	2						3
分　団			5	5	9	63	256	338
計	1	2	5	5	9	63	256	341

３　消防団員階級別実員数

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区　分	団本部	二日市分団	山口分団	筑紫分団	山家分団	御笠分団	計
団　長	1						1
副団長	2						2
分団長		1	1	1	1	1	5
副分団長		1	1	1	1	1	5
部　長		3	2	2	1	1	9
班　長		12	12	17	7	15	63
団　員	16	21	48	67	27	68	247
計	19	38	64	88	37	86	332

４　消防団員年齢及び勤続年数

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区　分	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
団員数	1	2	5	5	9	63	247
平均年齢	64	55	51.2	47.8	48.9	41.2	38.5
平均勤続年数	44	25	25.4	24.2	18.6	10.6	6.7

５　消防団機械台数

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

種　別	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付軽積載車	指令車	小型動力ポンプ	計
台　数	9	3	2（広報車 1 台含む）	26	40

６　消防団機械配置状況

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区　分	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付軽積載車	指令車	小型動力ポンプ	計
本　部			2（広報車 1 台含む）	1	3
二日市分団	3				3
御笠分団	1	1		11	13
山家分団	1	1		2	4
筑紫分団	2			9	11
山口分団	2	1		3	6
計	9	3	2	26	40

７　消防団機械の車齢

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区　分	12 年以上	11 年	10 年	9 年	8 年	7 年	6 年	5 年	4 年	3 年	2 年	1 年	1 年未満	計
消防ポンプ自動車	5									1	1	1	1	9
小型動力ポンプ付軽積載車	3													3
指令車	1										1			2
小型動力ポンプ	18	1			2	2		1	1	1				26
計	27	1			2	2		1	1	2	2	1	1	40

８　消防団現有消防自動車調

（平成25年12月31日現在）

車　名	年　式	種　別	型　式	使用年数	購入年月日
指揮広報車	平成 13	指揮広報車	ｽﾃｰｼｮﾝﾜｺﾞﾝ	12	平成 13 年 12 月 13 日
1 号車	平成 22	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	3	平成 22 年 4 月 27 日
2 号車	平成 23	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	2	平成 23 年 3 月 16 日
3 号車	平成 4	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	21	平成 4 年 11 月 10 日
4 号車	平成 10	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	15	平成 10 年 11 月 4 日
5 号車	平成 25	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	0	平成 25 年 3 月 23 日
6 号車	平成 6	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	19	平成 6 年 12 月 6 日
7 号車	平成 7	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	18	平成 7 年 11 月 8 日
8 号車	平成 5	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	20	平成 5 年 11 月 12 日
9 号車	平成 24	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	1	平成 24 年 3 月 30 日
本導寺班積載車	平成 11	小型動力ポンプ付積載車	軽積載車	14	平成 12 年 1 月 20 日
山家 1 区班積載車	平成 12	小型動力ポンプ付積載車	軽積載車	13	平成 13 年 2 月 9 日
平等寺班積載車	平成 13	小型動力ポンプ付積載車	軽積載車	12	平成 13 年 11 月 27 日
広報車	平成 23	広報車	軽自動車	2	平成 23 年 8 月 22 日

9　消防団員報酬及び諸手当

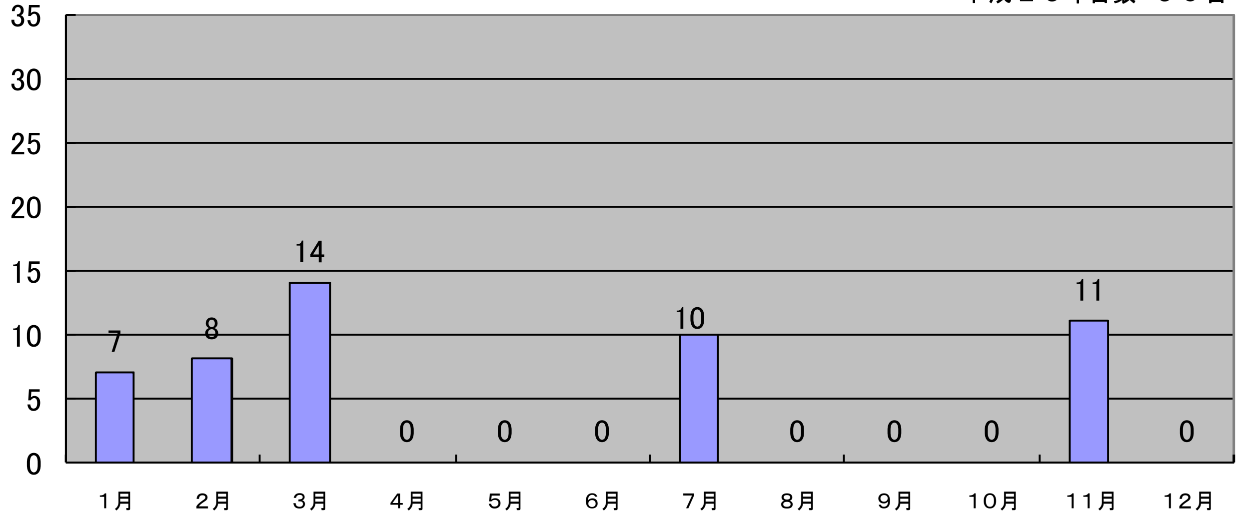
（平成25年度）

区　分	階　　　級	金　　　額	備　　　考
団員	団　　　　　　　長	270,000円	年　　間
	副　　　団　　　長	178,000円	年　　間
	分　　　団　　　長	79,000円	年　　間
	副　　分　　団　　長	66,000円	年　　間
	部　　　　　　　長	34,000円	年　　間
	班　　　　　　　長	30,000円	年　　間
	団　　　　　　　員	29,000円	年　　間
機関員手当	水槽付消防ポンプ自動車	62,000円	年　　間
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	45,000円	年　　間
費用弁償	訓練・警戒・出動手当	2,200円	１　回　毎

10　火災出動台数及び人員

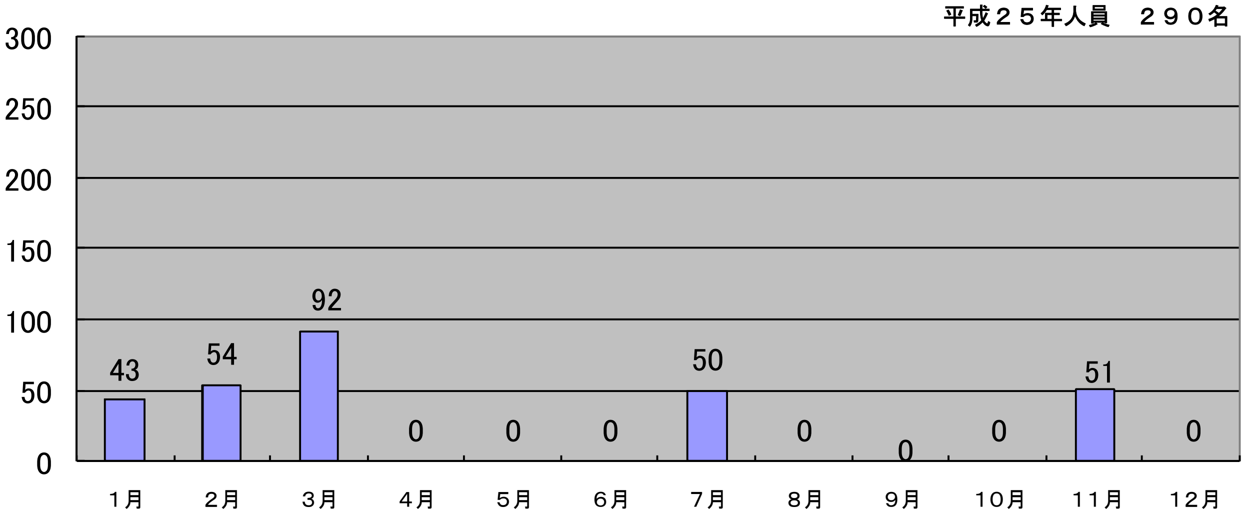
火災（捜索）出動台数

平成２５年台数　５０台



火災(捜索)出動人員

平成２５年人員　２９０名



太宰府市

１　歴代消防団長

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

歴　代	氏　名	就任年月日	退任年月日
初　代	米原与十郎	昭和 30 年 4 月 1 日	昭和 31 年 3 月 31 日
二　代	有岡栄三郎	昭和 31 年 4 月 1 日	昭和 31 年 11 月 30 日
三　代	中嶋　香	昭和 31 年 12 月 1 日	昭和 37 年 3 月 31 日
四　代	森岡二徳	昭和 37 年 4 月 1 日	昭和 39 年 3 月 31 日
五　代	楠林政勝	昭和 39 年 4 月 1 日	昭和 41 年 3 月 31 日
六　代	鬼木定樹	昭和 41 年 4 月 1 日	昭和 43 年 3 月 31 日
七　代	平山秀俊	昭和 43 年 4 月 1 日	昭和 45 年 3 月 31 日
八　代	松田豊彦	昭和 45 年 4 月 1 日	昭和 49 年 3 月 31 日
九　代	武藤政久	昭和 49 年 4 月 1 日	昭和 59 年 3 月 31 日
十　代	高原　豊	昭和 59 年 4 月 1 日	平成 8 年 3 月 31 日
十一代	中島喜代勝	平成 8 年 4 月 1 日	平成 16 年 3 月 31 日
十二代	中村辰美	平成 16 年 4 月 1 日	現在に至る

２　消防団員の階級別定員数（条例定員数）

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区分	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
本　部	1	2			1	3	11	18
分　団			3	3	15	45	166	232
計	1	2	3	3	16	48	177	250

３　消防団員階級別実員数

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区　分	本　部	本部分団	第一分団	第二分団	計
団　長	1				1
副団長	2				2
分団長		1	1	1	3
副分団長		1	1	1	3
部　長	1	5	5	5	16
班　長	3	15	15	15	48
団　員	6	68	54	45	173
計	13	90	76	67	246

４　消防団員年齢及び勤続年数

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区　分	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
団員数	1	2	3	3	16	48	173
平均年齢	61.0	52.0	47.0	43.7	38.3	35.5	36.4
平均勤続年数	31.8	30.8	24.1	16.1	14.4	8.9	10.7

５　消防団機械台数

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

種　別	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	指　　令　　車	計
台　数	5	10	2（広報車１台含む）	17

６　消防団機械配置状況

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区　　分	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	指　　令　　車	計
本　　部			2（広報車１台含む）	2
本部分団	3	2		5
第一分団	1	4		5
第二分団	1	4		5
計	5	10	2	17

７　消防団機械の車齢

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区　　分	12年以上	11年	10年	9年	8年	7年	6年	5年	4年	3年	2年	1年	1年未満	計
指　令　車		1	1											2
消防ポンプ自動車	1		1		1	1			1					5
小型動力ポンプ付積載車	2	2		3	1	1			1					10
計	3	3	2	3	2	2			2					17

８　消防団現有消防自動車調

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

車　名	年　式	種　　別	型　式	使用年数	購入年月日
指令車	平成 14	指　令　車	ｽﾃｰｼｮﾝﾜｺﾞﾝ	10	平成 15 年 3 月 12 日
広報車	平成 14	広　報　車	軽自動車	11	平成 14 年 12 月 3 日
本部自	平成 15	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	10	平成 15 年 10 月 28 日
第１自	平成 21	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	4	平成 21 年 11 月 12 日
第３自	平成 17	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	8	平成 17 年 11 月 9 日
本－４･５	平成 18	小型動力ポンプ付積載車	積載車	7	平成 18 年 11 月 7 日
本－６	平成 15	小型動力ポンプ付積載車	積載車	9	平成 16 年 3 月 19 日
第２自	平成 18	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ｉ型	7	平成 18 年 11 月 7 日
１－２	平成 12	小型動力ポンプ付積載車	積載車	12	平成 13 年 3 月 13 日
１－３	平成 14	小型動力ポンプ付積載車	積載車	11	平成 14 年 12 月 12 日
１－４	平成 15	小型動力ポンプ付積載車	積載車	9	平成 16 年 3 月 24 日
１－５	平成 13	小型動力ポンプ付積載車	積載車	12	平成 13 年 12 月 19 日
２－１	平成 16	小型動力ポンプ付積載車	積載車	9	平成 16 年 11 月 25 日
２－２	平成 21	小型動力ポンプ付積載車	積載車	4	平成 21 年 11 月 13 日
２－７	平成 17	小型動力ポンプ付積載車	積載車	8	平成 17 年 11 月 9 日
２－８	平成 9	小型動力ポンプ付積載車	積載車	15	平成 10 年 3 月 13 日
２－９	平成 14	小型動力ポンプ付積載車	積載車	11	平成 14 年 12 月 12 日

９　消防団員報酬及び諸手当

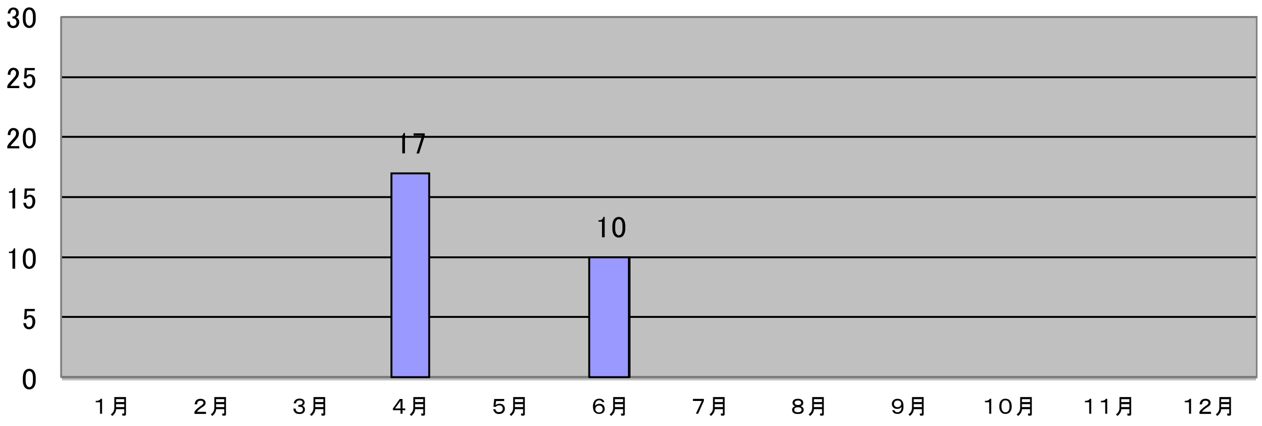
（平成25年度）

区　分	階　　級	金　　額	備　　考
団員	団　　長	200,000円	年　間
	副　団　長	130,000円	年　間
	分　団　長	70,000円	年　間
	副　分　団　長	58,000円	年　間
	部　　長	27,000円	年　間
	班　　長	23,000円	年　間
	団　　員	22,000円	年　間
機関員手当	消 防 ポ ン プ 自 動 車	34,000円	年　間
	小型動力ポンプ付積載車	34,000円	年　間
費用弁償	訓練・警戒・出勤手当	2,200円	１　回　毎

10 火災出動台数及び人員

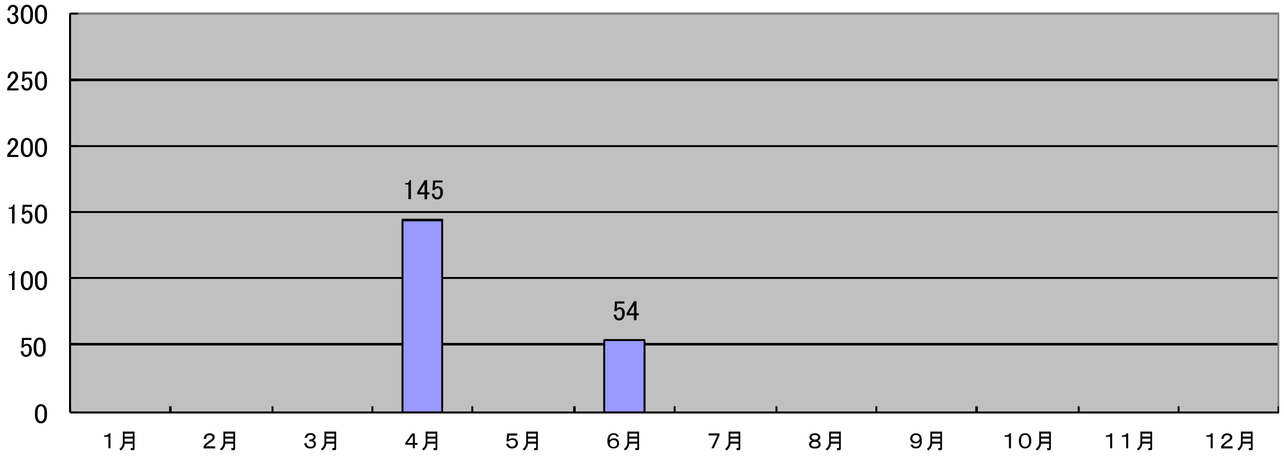
火災出動台数

平成２５年台数　２７台



火災出動人員

平成２５年人員　１９９名



予　防　編

FIRE PREVENTION

1　予防の概要

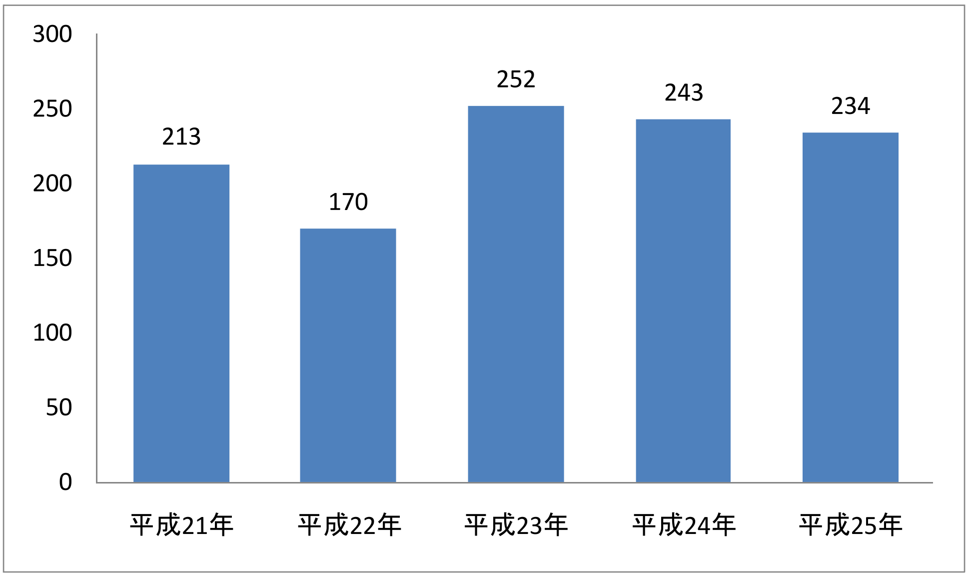
当消防本部管内は、公共交通機関及び主要道路が通っており、また恵まれた住宅環境から、福岡都市圏のベッドタウンとして宅地開発が進んでいる。建築基準法の改正等により、ここ数年間の建築同意総件数は減少したものの、中高層マンション等を含めた住宅等の建築同意件数は増加している。

また、近年の傾向として高齢化社会に伴い老人福祉施設が増加している。

このような中高層建築物や老人福祉施設は、一旦災害が発生すると人命の損失を含む大災害となる危険性が高く、建築物の建築にあたっては消防用設備等の充実を図り、既存建築物についても、随時立入検査等を実施し、消防用設備等の適正な維持管理の指導を行うとともに、防火管理体制の確立、自衛消防隊の編成等各事業所における自主防災・危機管理体制の強化を図っている。

危険物施設においては、今日の不安定な社会情勢、環境問題に配慮したクリーンエネルギーへの移行などにより、ここ数年減少傾向が見受けられ、平成２５年１２月３１日現在における危険物施設数は、１８６施設となっている。管内は前述のとおり住宅地として発展しており、工場などの大規模な危険物施設は少ない。危険物施設を区分別にみると、給油取扱所と地下タンク貯蔵所が半数以上を占めている。また、危険物施設で貯蔵、取り扱う危険物の種別を見ると、第４類の危険物がそのほとんどを占めている。

過去5ケ年間の建築同意件数



２　防火対象物一覧表

（平成25年12月31日現在）

区分			延べ面積150㎡以上の対象物			防火管理者の選任を必要とする対象物			防火管理者を選任している対象物			防火対象物定期点検報告を必要とする対象物		
			計	筑紫野市	太宰府市	計	筑紫野市	太宰府市	計	筑紫野市	太宰府市	計	筑紫野市	太宰府市
合計			5,301	3,036	2,265	1,459	828	631	1,044	610	434	82	50	32
1	イ	劇場,映画館	0			0			0			0		
	ロ	公会堂,集会場	123	75	48	121	73	48	102	58	44	16	8	8
2	イ	キャバレー	0			0			0			0		
	ロ	遊技場	13	9	4	11	7	4	10	6	4	9	5	4
	ハ	風営法等規制	0			0			0			0		
	ニ	カラオケボックス	7	3	4	7	3	4	7	3	4	1	1	
3	イ	待合,料理店	0			0			0			0		
	ロ	飲食店	117	51	66	113	48	65	76	32	44	0		
4		百貨店,マーケット	230	127	103	157	75	82	118	56	62	30	20	10
5	イ	旅館,ホテル	11	8	3	13	10	3	12	10	2	4	3	1
	ロ	寄宿舎,共同住宅	2,366	1,339	1,027	399	231	168	213	148	65	0		
6	イ	病院,診療所	114	74	40	43	29	14	42	29	13	3	2	1
	ロ	老人短期入所施設等	58	31	27	40	21	19	38	19	19	0		
	ハ	老人福祉センター等	64	37	27	49	27	22	50	27	23	3	3	
	ニ	幼稚園等	30	19	11	16	10	6	22	16	6	1		1
7		小中高大学,専修学校	253	108	145	46	24	22	45	23	22	0		
8		図書館,博物館	9	4	5	8	4	4	7	4	3	0		
9	イ	蒸気浴場,熱気浴場	0			0			0			0		
	ロ	上記以外の公衆浴場	6	4	2	5	4	1	5	4	1	0		
10		車両の停車場	6	3	3	1	1		1	1		0		
11		神社,寺院,教会	97	56	41	37	19	18	29	15	14	0		
12	イ	工場,作業場	320	190	130	21	16	5	20	16	4	0		
	ロ	映画スタジオ	0			0			0			0		
13	イ	自動車車庫,駐車場	33	21	12	0			0			0		
	ロ	飛行機の格納庫	0			0			0			0		
14		倉庫	259	145	114	7	4	3	5	3	2	0		
15		前各項に該当しない事業場	516	345	171	96	62	34	74	41	33	0		
16	イ	複合用途防火対象物	403	232	171	223	134	89	145	87	58	15	8	7
	ロ	上記以外の複合用途	264	155	109	44	26	18	21	12	9	0		
17		文化財保護法による文化財	2		2	2		2	2		2	0		

3　防火対象物別・月別建築同意件数調

（平成25年）

区分			筑紫野市	太宰府市	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計			138	96	234	11	13	24	12	22	24	22	21	21	23	16	25
1	イ	劇場，映画館			0												
	ロ	公会堂，集会場	5		5		1		1		1		1		1		
2	イ	キャバレー			0												
	ロ	遊技場			0												
	ハ	風営法等規制			0												
	ニ	カラオケボックス		1	1									1			
3	イ	待合，料理店			0												
	ロ	飲食店	2	1	3						1			1	1		
4		百貨店，マーケット	10	4	14	1		2	1	2	2		1		2	2	1
5	イ	旅館，ホテル			0												
	ロ	寄宿舎，共同住宅	17	11	28	3		5		2	2	3	5	3	2	1	2
6	イ	病院，診療所	4	4	8					1		1	1	3	1		1
	ロ	老人短期入所施設	8		8	1			1		1	1	1		2		1
	ハ	老人福祉センター	3	3	6			2		1		1		2			
	ニ	幼稚園等		2	2												2
7		小・中・高・大学，専修学校	2	1	3		1	1		1							
8		図書館，博物館			0												
9	イ	蒸気浴場，熱気浴場			0												
	ロ	上記以外の公衆浴場			0												
10		車両の停車場			0												
11		神社，寺院，教会		2	2					1		1					
12	イ	工場，作業場	7	2	9			1	1		2	1			3		1
	ロ	映画スタジオ			0												
13	イ	自動車車庫，駐車場	3		3							1		1	1		
	ロ	飛行機の格納庫			0												
14		倉庫	9	2	11		3	1	1			2	1	3			
15		前各項に該当しない事業場	18	5	23	2	3	4	1	2	2		4		3	2	
16	イ	複合用途防火対象物	3	3	6		1	1		1		1			1	1	
	ロ	上記以外の複合用途		4	4				1					1			2
17		文化財保護法による文化財			0												
専住			33	33	66	3	2	6	3	8	5	4	6	4	3	8	14
長屋			14	18	32	1	2	1	2	3	8	6	1	2	3	2	1

4　消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届受付状況

（平成25年）

区分			計	消火器	屋内消火栓設備	パッケージ型消火設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	粉末消火設備	自動火災報知設備	非常警報（放送）設備	避難器具	誘導灯	火災通報装置	連結送水管
合計			244	43	8	1	14	0	1	81	22	17	39	16	2
1	イ	劇場,映画館	0												
	ロ	公会堂,集会場	9	1						3	2	2	1		
2	イ	キャバレー	0												
	ロ	遊技場	0												
	ハ	風営法等規制	0												
	ニ	カラオケボックス	1							1					
3	イ	待合,料理店	0												
	ロ	飲食店	0												
4		百貨店,マーケット	34	5	1					5	5	1	17		
5	イ	旅館,ホテル	10									10			
	ロ	寄宿舎,共同住宅	31	12						14	2		2		1
6	イ	病院,診療所	22	2	1	1				7	2	2	3	3	1
	ロ	老人短期入所施設等	22	3			5			7			3	4	
	ハ	老人福祉センター等	15	2			6			4				3	
	ニ	幼稚園等	4								1	2	1		
7		小中高大学,専修学校	22	4	1					11	5		1		
8		図書館,博物館	1										1		
9	イ	蒸気浴場,熱気浴場	1							1					
	ロ	上記以外の公衆浴場	0												
10		車両の停車場	0												
11		神社,寺院,教会	3								1		2		
12	イ	工場,作業場	13	2	3					8					
	ロ	映画スタジオ	0												
13	イ	自動車車庫,駐車場	3	1					1	1					
	ロ	飛行機の格納庫	1										1		
14		倉庫	8	1	2					1			4		
15		前各項に該当しない事業場	18	6						6	1		3	2	
16	イ	複合用途防火対象物	26	4			3			12	3			4	
	ロ	上記以外の複合用途	0												
17		文化財保護法による文化財	0												

5　中高層建築物の現況

（平成25年12月31日現在）

区　分			計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階
合　計			1,394	630	344	131	75	94	48	21	18	12	2	4	10	5
筑紫野市			868	398	201	81	40	42	39	16	18	12	2	4	10	5
太宰府市			526	232	143	50	35	52	9	5						
1	イ	劇場, 映画館	0													
	ロ	公会堂, 集会場	7	5	2											
2	イ	キャバレー	0													
	ロ	遊技場	3	1	1				1							
	ハ	風営法等規制	0													
	ニ	カラオケボックス	1	1												
3	イ	待合, 料理店	0													
	ロ	飲食店	5	4	1											
4		百貨店, マーケット	14	6	7	1										
5	イ	旅館, ホテル	9	3	3		1			1		1				
	ロ	寄宿舎, 共同住宅	841	326	196	80	51	83	39	17	17	11	2	4	10	5
6	イ	病院, 診療所	41	23	9	4		3	1	1						
	ロ	老人短期入所施設等	20	7	9	3			1							
	ハ	老人福祉センター等	10	5	2	2				1						
	ニ	幼稚園等	4	4												
7		小中高大学, 専修学校	96	58	22	13		3								
8		図書館, 博物館	3	1	1	1										
9	イ	蒸気浴場, 熱気浴場	0													
	ロ	上記以外の公衆浴場	1	1												
10		車両の停車場	0													
11		神社, 寺院, 教会	15	12	2	1										
12	イ	工場, 作業場	23	17	5	1										
	ロ	映画スタジオ	0													
13	イ	自動車車庫, 駐車場	8	6	2											
	ロ	飛行機の格納庫	0													
14		倉庫	19	16	3											
15		前各項に該当しない事業場	59	43	14	1		1								
16	イ	複合用途防火対象物	137	64	40	14	11	4	3	1						
	ロ	上記以外の複合用途	79	27	25	11	5	7	3		1					

６　防火クラブの現況

名称	所在地	結成年月日	クラブ員数
筑紫野市婦人防火クラブ	筑紫野市針摺西１丁目1-1	昭和53年1月1日	31人
筑紫野市少年消防クラブ	筑紫野市針摺西１丁目1-1	昭和56年3月29日	85人
太宰府市少年消防クラブ	太宰府市観世音寺2丁目19-19	昭和56年3月29日	55人
太宰府天満宮幼稚園幼年消防隊	太宰府市宰府４丁目7－5	昭和58年11月2日	185人

◎　表彰履歴

○ 運営指導協議会会長	優良指導者（昭和63年3月29日）（平成10年3月27日）
○ 筑紫野市婦人防火クラブ	消防庁長官（昭和43年3月31日）
	日本消防協会（昭和44年2月20日）
	福岡県消防協会（昭和53年1月5日）
	日本防火協会（昭和62年2月11日）
	日本消防協会（平成24年2月23日）
○ 筑紫野市少年消防クラブ	日本防火協会（昭和60年8月29日）
	福岡県知事(平成20年3月27日)
○ 太宰府市少年消防クラブ	日本防火協会（昭和61年3月28日）
	全国少年消防クラブ運営指導協議会々長　（平成21年3月27日）
○ 太宰府天満宮幼稚園幼年消防隊	日本防火協会（平成2年2月16日）

(1)　婦人防火クラブ活動状況

婦人防火クラブは、原田地区の婦人消防隊（昭和25年3月1日結成）を母体に、昭和53年１月１日に筑紫野市婦人防火クラブとして、153名で組織されました。

活動は火災発生時における初期消火、消防広報活動、消防出初め式、火災予防運動及び防災訓練等への参加と積極的な活動を行っています。

(2)　少年消防クラブの活動状況

少年消防クラブは、各校区の少年剣道育成団体を母体として、少年達の防火知識の啓もうと、防火思想の普及徹底を図ることを目的に、昭和56年3月29日に定数200名で結成されました。

活動は消防出初め式への参加、火災予防少年剣道大会、クラブ員の親睦を図るレクレーション、夏期研修等積極的な活動を行っています。

(3)　幼年消防クラブの活動状況

幼年消防クラブは、昭和58年11月2日太宰府天満宮幼稚園の年長、年中組を正規隊員、年少組を予備隊員として300人の隊員で結成されました。

活動は正しい火の取り扱い方、人命、財産の保護、しつけ等について、園独自に指導計画を樹立し、自主的に活動するとともに、消防機関の主行事として文化財防火パレードに積極的に参加しています。

7　消防広報

（平成25年）

区分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
署内見学	保育園	回数		1					1	1		2	4		9
		人員		24					30	40		51	122		267
	幼稚園	回数	1				1				1		3		6
		人員	89				92				41		113		335
	小学校	回数	1	1			2	1			4	2		1	12
		人員	103	53			129	92			345	259		50	1,031
	一　般（サークル等）	回数													0
		人員													0
	計	回数	2	2	0	0	3	1	1	1	5	4	7	1	27
		人員	192	77	0	0	221	92	30	40	386	310	235	50	1,633

職場体験	回数	2	3				1	1						7
	人員	16	34				5	13						68
防火講習	回数					2		1	1	1	1	2	1	9
	人員					95		200	30	50	50	176	30	631
防災講習	回数							3			1	3		7
	人員							220			125	972		1,317

8　避難訓練実施状況

（平成25年）

法第8条適用	1～3項	4項	5項		6項				7項	8項	9～12項	13～14項	15項	16項	計
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ							
	劇場・遊技場等	店舗	旅館・ホテル等	共同住宅等	病院・診療所等	老人短期入所施設等	老人福祉センター等	幼稚園等	小・中学校等	図書館等	浴場・工場等	倉庫・車庫等	その他の事業所	複合用途対象物	
実施回数	76	78	13	22	56	79	77	40	43	5	20	6	12	55	582

9　甲種防火管理講習会受講者数調

区分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
受講者数	107	194	70	103	130	145	115
累計	3276	3470	3540	3643	3773	3907	4022

10　各種届出事務取扱状況

（平成25年）

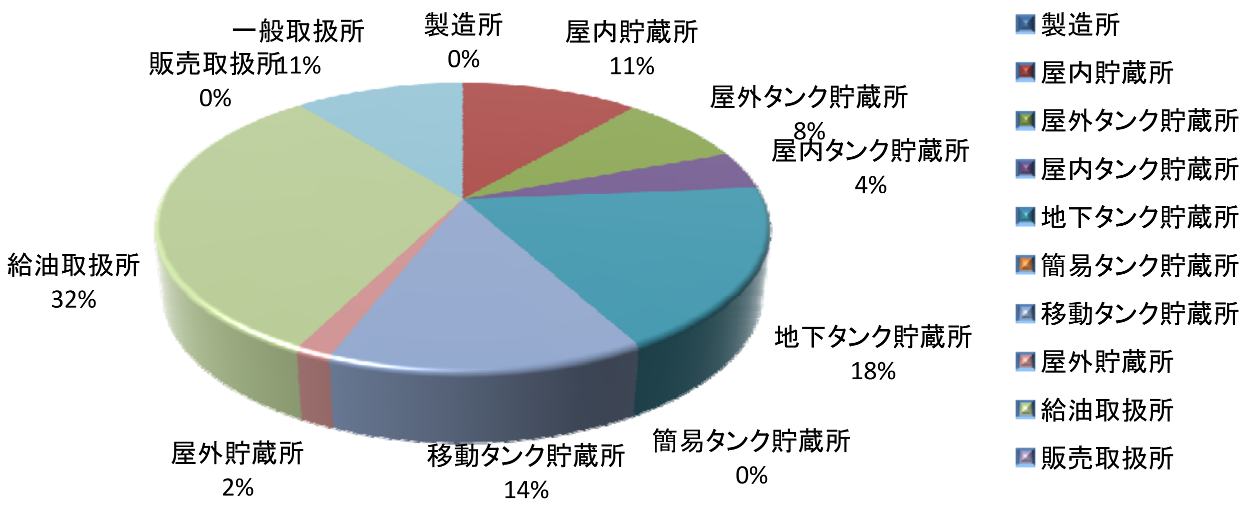
区　分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
防火対象物定期点検報告	4	6	7	4	2	0	18	3	8	14	4	4	74
（特例認定）								1		1			2
消防用設備等点検結果報告	63	70	85	102	124	82	99	79	103	140	90	108	1,145
防火管理者選任・解任届出	9	16	22	45	47	20	43	55	43	32	15	20	367
消防計画作成（変更）届出	9	18	25	45	43	24	41	15	47	33	14	23	337
防火対象物使用開始届出	8	17	19	13	9	4	5	8	6	8	7	6	110
炉・かまど・ボイラー設置届出		1				1		1		1	1	1	6
発電・変電・蓄電池設備設置届出	3	4	4	7	3	2	2		1	2	5	3	36
火災とまぎらわしい行為の届出	24	13	4	5	8	6	9	7	5	18	15	36	150
煙火打ち上げ届出				1	1	3	9		2		1		17
催し物の開催届出			1		1	1	2				3		8
少量危険物貯蔵・取扱い届出		4	2	3	2		2		1	1		4	19
ＬＰ・圧縮アセチレンガスの届出	5	1	1		4	1		1		10	12	3	38
計	125	150	170	225	244	144	230	170	216	260	167	208	2,309

１１　危険物施設数

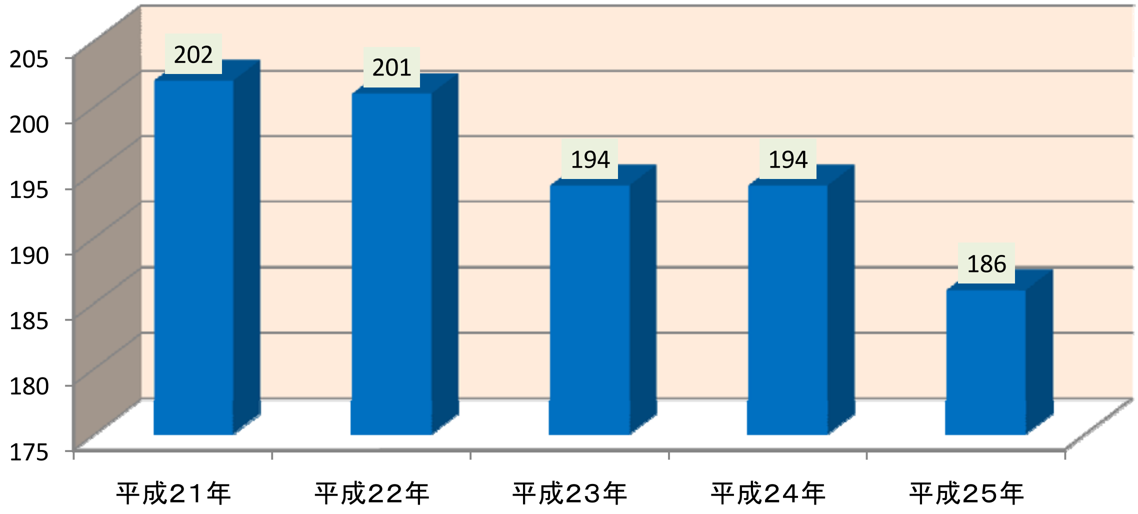
（平成25年12月31日現在）

施設区分	製造所	貯蔵所							取扱所			計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般	
施設数	0	21	15	8	34	0	26	3	59	0	20	186
前年比	-	−2	−1	-	−4	-	-	-	-	-	−1	−8

１２　危険物施設区分比（%）



１３　過去５年間の危険物施設状況



１４　危険物施設別の貯蔵取扱量

（平成25年12月31日現在）

施設区分	製造所	貯蔵所							取扱所			計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般	
貯蔵取扱量（kℓ）	0	295	251	36	507	0	107	59	3423	0	251	4929

１５　危険物施設の許認可・届出状況

（平成25年）

施設区分			製造所	貯蔵所							取扱所			危険物施設以外	計
				屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般		
危険物許認可等別	許可	設置		1							2				3
		変更			2		1		1		10				14
	完成	完成		1							2				3
		変更			2		1		1		12				16
廃止				3	1		4				2		1		11
仮貯蔵 仮取扱															0
水張 水圧検査					2						1			3	6
仮使用											8				8
予防規程 認可											3				3
特例認定															0
意見書交付															0
各種届出			地下タンク等圧力点検実施結果届、保安監督者選任･解任届、製造所等危険作業届等												126

１６　危険物施設の手数料収入調（円）

（平成25年）

施設区分		危険物許可・承認等別							計
		許　可		完　成		仮貯蔵	仮使用	水張検査	
		設置	変更	設置	変更			水圧検査	
製　造　所									0
貯蔵所	屋内	20,000		10,000					30,000
	屋外タンク		20,000		10,000			18,000	48,000
	屋内タンク							12,000	12,000
	地下タンク		13,000		6,500				19,500
	簡易タンク								0
	移動タンク		19,500		9,750				29,250
	屋外								0
取扱所	給油	104,000	267,000	52,000	159,500		43,200	11,000	636,700
	販売								0
	一般								0
危険物施設以外									0
計		124,000	319,500	62,000	185,750	0	43,200	41,000	775,450

警　防　編

FIRE DEFENSE COMPILE

１　警防業務の概要

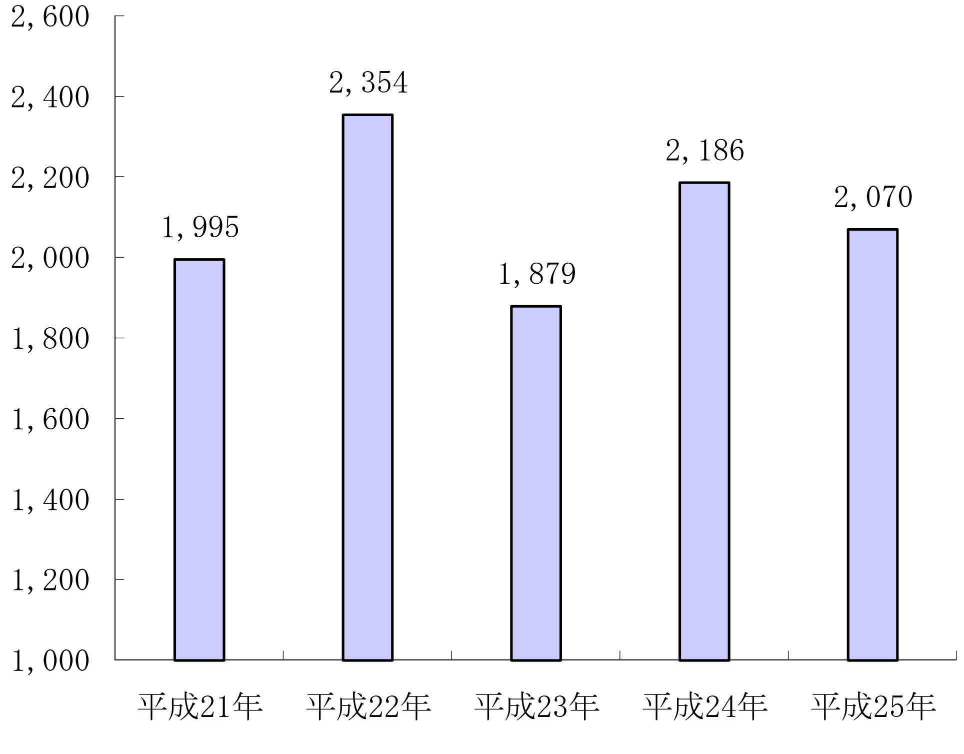
近年、都市化が進み生活環境が変化するなか、特異な火災、事故等の災害が多発しており、災害形態も変化している。さらに、ゲリラ豪雨や竜巻等の突発的な風水害も年々増加傾向である。

平成２５年中においては、過去５ヵ年の年間雨量数を見ても平均的な数値を記録し、人的被害は発生しなかった。また、管内に発表された警報は、大雨警報９回、洪水警報６回、暴風警報１回である。

これらの災害に対処する消防として、安心・安全な社会の構築に向けて、消防装備、機械等の充実、新鋭化に努めている。

また、災害で活動する隊員は、基本、連携、応用等の段階的な訓練により、知識、技術を習得し、災害対応及び安全管理の徹底を図っている。

過去５ヵ年の年間雨量（単位mm）



２　消防本部・署所別配置車両

（平成25年12月31日現在）

署所名		号車	年式	車名	メーカー	ポンプ種別	備考
消防本部		１２号	Ｈ２３	査察車	日産		
		１３号	Ｈ１８	警防調査車	トヨタ		
		１４号	Ｈ２	資機材搬送車	三菱		２ｔダンプ
		１５号	Ｈ１６	事務連絡車	スバル		
		１６号	Ｈ７	マイクロバス	三菱		定員２９名
		１７号	Ｈ２４	人員搬送車	トヨタ		
		１８号	Ｈ１３	人員搬送車	日産		
筑紫野消防署	本署	救急１	Ｈ２４	救急車	トヨタ		高規格車
		救急３	Ｈ１５	非常用救急車	トヨタ		高規格車
		２０号	Ｈ４	緊急連絡車	いすゞ		
		２１号	Ｈ１８	現場指揮車	日産		
		２２号	Ｈ１３	ポンプ車	日野	Ａ－Ⅱ級	ＣＤ－Ⅱ型
		２３号	Ｈ２１	タンク車	日野	Ａ－Ⅱ級	水－Ⅱ型
		２４号	Ｈ１３	救助工作車	日野		Ⅱ型
		２５号	Ｈ２０	はしご車	日野		３５ｍ級
		２６号	Ｈ１０	非常用タンク車	日野	Ａ－Ⅱ級	水－Ⅱ型
		２７号	Ｈ９	水槽車	日野	Ｂ－Ⅲ級	１０ｔ水槽
		２８号	Ｈ１９	緊急連絡車	スバル		
		２９号	Ｈ６	事務連絡車	ホンダ		
	南出張所	救急２	Ｈ１９	救急車	トヨタ		高規格車
		５３号	Ｈ２５	タンク車	日野	Ａ－Ⅱ級	水－Ⅱ型
		５８号	Ｈ１０	事務連絡車	ダイハツ		
太宰府消防署	本署	救急５	Ｈ２４	救急車	トヨタ		高規格車
		救急７	Ｈ１７	非常用救急車	日産		高規格車
		１１号	Ｈ２２	支援車	日野		支援車Ⅰ型
		３０号	Ｈ１１	指令車	トヨタ		
		３１号	Ｈ２５	現場指揮車	日産		
		３２号	Ｈ２０	ポンプ車	三菱	Ａ－Ⅱ級	ＣＤ－Ⅱ型
		３３号	Ｈ１７	タンク車	日野	Ａ－Ⅱ級	水－Ⅱ型
		３６号	Ｈ６	非常用タンク車	日野	Ａ－Ⅱ級	水－Ⅱ型
		３８号	Ｈ６	事務連絡車	ホンダ		
		３９号	Ｈ２３	事務連絡車	三菱		
	東出張所	救急６	Ｈ２２	救急車	トヨタ		高規格車
		６３号	Ｈ１６	タンク車	日野	Ａ－Ⅱ級	水－Ⅱ型
		６８号	Ｈ１６	事務連絡車	スバル		

※　筑紫野太宰府消防本部・筑紫野消防署庁舎建て替えに伴い、一部の車両を配置換えをしています。

３　車両出動状況

（平成25年）

区分			火災	救急業務	救助業務	風水害	演習訓練	広報指導	警防調査	原因調査	特別警戒	遭難	予防査察	その他	火災誤報	計
筑紫野消防署	救急車	回数	7	2,219	26									4		2,256
		人員	21	6,768	78									11		6,878
	非常用救急車	回数		71	1		1				1			11		85
		人員		205	2		3				3			30		243
	緊急連絡車	回数			5		3	1	43	1	1		29	40		123
		人員			13		11	3	90	2	2		55	75		251
	現場指揮車	回数	35		61	3	6	3	3			1	2	130	3	247
		人員	82		130	6	12	6	6			2	4	275	7	530
	ポンプ車	回数	25		11	1	8	67	3		1	1	125	161	7	410
		人員	74		37	3	26	207	9		3	4	378	489	21	1,251
	タンク車	回数	29		30		29	56	14	7	6			347	11	529
		人員	96		97		94	191	44	21	19			1,089	38	1,689
	救助工作車	回数	35		82	1	4	7	8					257		394
		人員	128		279	3	9	22	23					676		1,140
	はしご車	回数					3							131		134
		人員					7							273		280
	非常用タンク車	回数	7		3		5	2	3	1			4	56	2	83
		人員	23		12		22	6	9	3			12	165	7	259
	水槽車	回数	4				2		1					20		27
		人員	8				4		2					36		50
	緊急連絡車	回数			6		3	2	45	1			41	118		216
		人員			23		8	4	98	2			87	242		464
	事務連絡車	回数						6	47	1			30	94		178
		人員						13	106	2			60	164		345
南出張所	救急車	回数		1,247			2	1						29		1,279
		人員		3,763			5	4						81		3,853
	タンク車	回数	9			29	1	3	1				1	48		92
		人員	28			82	3	9	4				4	137		267
	事務連絡車	回数					6	17	60	4			31	66		184
		人員					14	40	127	11			78	120		390
太宰府消防署	救急車	回数	11	2,028	10		1	11						10		2,071
		人員	22	6,277	29		3	44						30		6,405
	非常用救急車	回数		34			2							7		43
		人員		105			6							19		130
	支援車	回数					15					1		1		17
		人員					33					5		2		40
	指令車	回数			4		1		31			1	11	99		147
		人員			16		2		73			5	29	190		315
	現場指揮車	回数					6									6
		人員					12									12
	ポンプ車	回数	29		3	7	58	52	3				46	116	3	317
		人員	112		10	22	192	157	9				158	377	10	1,047
	タンク車	回数	33		8		66	55	7	2	5			253	7	436
		人員	131		34		212	158	29	9	14			901	28	1,516
	非常用タンク車	回数	1				1	1						37		40
		人員	4				4	3						97		108
	事務連絡車	回数					1	37	71	4		1	43	35		192
		人員					4	41	165	11		3	94	53		371
	事務連絡車	回数					2	39	89	1			40	104		275
		人員					5	42	181	4			83	274		589
東出張所	救急車	回数	3	1,524	11		16				1			120		1,675
		人員	9	4,785	38		34				3			278		5,147
	タンク車	回数	12			2	15			1	1			152	1	184
		人員	45			8	30			3	3			329	4	422
	事務連絡車	回数					2	36	56	3			29	108		234
		人員					8	48	126	6			59	188		435
計		回数	240	7,123	261	43	259	396	485	26	16	5	432	2,554	34	11,874
		人員	783	21,903	798	124	763	998	1,101	74	47	19	1,101	6,601	115	34,427

※　筑紫野太宰府消防本部・筑紫野消防署庁舎建て替えに伴い、一部の車両を配置換えをしています。

４　救助器具及び消防用資機材現有状況

（平成25年12月31日現在）

救助用器具及び資機材種別		救助隊	消防隊	
			筑紫野署	太宰府署
一般救助用器具	かぎ付きはしご（チタン）	2		
	三連はしご	1	3	3
	二連はしご		1	1
	ワイヤーはしご	1		
	金属製折りたたみ梯子（９型　８．６）	1		
	空気式救助マット	1		
	レスキューショット	1		
	救助用縛帯	1		
	平担架	1		
	カラビナ	20	6	20
	滑車	5		3
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1		
	可搬式ウインチ	1	1	1
	ワイヤーロープ	7	5	5
	マット型空気ジャッキ（エアマット）	1		
	大型油圧スプレッダー	1		
	救助用支柱（レスキュープロップ）	1		
	チェーンブロック	1		
	マンホール救助器具	1		
切断用器具	エンジンカッター	1		
	ガス溶断機	1		
	チェンソー	1	1	3
	ガラスカッター	2	3	4
	空気鋸（エアソー）	1		
	大型油圧切断機	1		
	ｺﾝｸﾘｰﾄ・鉄筋切断用ﾁｪﾝｿｰ(ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ)	1		
	鉄線カッター	2	5	8
破壊用器具	万能斧	4	4	9
	ハンマー	2	4	6
	ハンマードリル（電動式）	1		
	削岩機（エンジン）	1		
	携帯用コンクリート破壊器具(ストライカー)	1		
測定用器具	可燃性ガス測定器	1	1	1
	有毒ガス測定器	2	2	
	放射線測定器	1	1	
呼吸保護用器具	空気呼吸器	7	15	15
	送排風機	1		
隊員保護用器具	耐電手袋	6		3
	耐電衣	6		
	耐電ズボン	6		
	耐電長靴	6		

救　助　用　器　具　及　び　資　機　材　種　別		救助隊	消　防　隊	
			筑紫野署	太宰府署
	安全帯	7		
	柱上安全帯	4		
	携帯警報機	5		
	防毒マスク	5		
	陽圧型化学防護服	2		
	放射線防護服	2		
	肘・膝用プロテクター	12		
水難救助用器具	救命胴衣	9	4	4
	救難用アルミボート	1		
	救難用ゴムボート	1		
	水中投光器	5	5	2
	救命浮環	2	1	3
	浮標	2		
	ミニハンマーヘット	8		
	潜水用具（一式）	8		
山岳救助用器具	山岳救助資器材（一式）	1		
	バスケット担架	2		1
その他の救助用器具	携帯投光器	6	7	4
	携帯用拡声器	3	8	7
	投光器一式	1	4	4
	携帯無線	2	8	10
	応急処置用セット	1	2	1
	車両移動器具（ゴージャック１組４台）	1		
	簡易画像探索機	1		
	緩降機	1		
	吊り上げ縛帯	1		
	落下傘式安全帯	1		
	耐熱服	2		2
	救助幕	1		
	ロープ登降機	1		
	救助用降下機	1		
	インパルス消火システム	1		
	ロックブロック（一式５対）	2		
	エッジローラー（ロープ保護具）	2		
	エッジプロテクター（ロープ保護具）	2		
	サバイバースリング	1		
	工具箱（一式）	2	4	5
	訓練用人形（ダミー）	2	2	2

５　水利現況

（平成25年12月31日現在）

水　利　区　分		筑紫野市	太宰府市	合　計
消 火 栓	口径１５０ｍｍ以上	615	196	811
	口径１５０ｍｍ未満	493	496	989
防火水槽	容量４０トン以上	350	169	519
	容量４０トン未満	106	97	203
プ　ー　ル		20	13	33
そ　の　他		0	1	1

６　月別気象状況（太宰府消防署調）

（平成25年）

区　分		１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月
平 均 風 向		東	東	東	東	東	東南東	東南東	東	東	東	東	東
風速	最高	14.1	13.3	13.8	14.9	14.4	11.2	12.1	15.1	13.2	16.1	13.5	16.8
	平均	1.7	1.6	1.8	1.6	1.3	1.1	1.6	1.4	0.9	1.1	1.4	1.4
気温	最高	16.7	20.8	23.5	26.1	32.0	33.8	37.7	38.6	35.4	31.4	23.1	15.3
	最低	-1.9	-2.8	0.2	3.1	6.3	17.2	22.1	20.8	15.8	9.0	3.5	0.1
	平均	5.0	6.7	11.5	14.0	20.2	23.8	28.9	29.3	24.7	19.9	12.0	6.6
湿度	最高	98.3	98.3	97.7	98.0	98.0	98.3	98.0	98.3	98.3	98.3	98.3	98.6
	最低	42.5	15.0	21.6	19.9	19.1	47.7	40.5	33.8	19.9	31.6	33.6	42.7
	平均	78.9	79.1	77.4	72.7	72.0	85.9	81.9	81.6	79.1	80.6	81.1	81.9
雨量	雨量	43.5	102.5	93.5	117.0	40.5	316.0	123.0	637.5	163.5	235.0	97.5	101.0
	１日最大	14.5	20.5	44.5	32.5	30.5	124.5	67.0	264.0	75.0	96.5	29.0	26.0
	１時間最大	3.5	5.5	21.0	10.5	6.5	30.0	24.0	45.0	18.5	16.5	12.0	5.0

7 応援協定

大規模な災害が発生した場合の応援体制を確立し、協定市町村相互の消防力を活用して効率的な活動を行い、その被害を最小限度に止めるため、次の応援協定を締結しているが、特に広域的なものとして福岡県消防相互応援協定、県境の隣接を対象としての福岡佐賀県境隣接常備消防相互応援協定などがある。

消防応援協定の状況

協定名称	協定市町村・消防本部名	締結年月日	締結内容
福岡都市圏市町 消防相互応援協定	福岡都市圏１９市町６消防組合	昭和55年3月1日 平成18年10月10日改	火災・救急救助 その他の災害
高速自動車道における 消防相互応援協定	福岡県内インター所在１６消防組合	昭和61年10月15日 平成21年10月1日改	火災・事故等
福岡佐賀県境隣接常備 消防相互応援協定	春日・大野城・那珂川消防組合 鳥栖・三養基地区消防事務組合 佐賀中部広域連合	昭和62年1月1日 平成25年9月1日改	火災・救急・救助 その他の災害
飯塚地区消防組合、筑紫野太宰府消防組合消防相互応援協定	飯塚地区消防組合	昭和62年11月1日	火災・地震等
常備消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合	平成21年4月1日	火災・救急・救助 その他の災害
常備消防相互応援協定	甘木・朝倉広域市町村圏事務組合	平成21年4月1日	火災・救急・救助 その他の災害
福岡県消防相互応援協定	福岡県内６０市町村１３消防組合	平成元年3月25日 平成25年4月1日改	大規模災害等
福岡・佐賀両県境地域に 係る高速自動車道における 消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合 鳥栖・三養基地区消防事務組合	平成3年10月25日 平成21年4月1日改	火災・事故等

火　災　編

FIRE COMPILE

１　火災の概要

平成２５年中における当消防本部管内の火災発生件数は４３件で、これらの火災による火災損害額は、３３，５４４千円となっている。また、建物火災においては、焼損棟数２４棟、面積にして３７６㎡が焼損している。

り災世帯は１５世帯、り災人員は２５人となっており、死者２名、負傷者４名が発生している。

⑴　出火件数

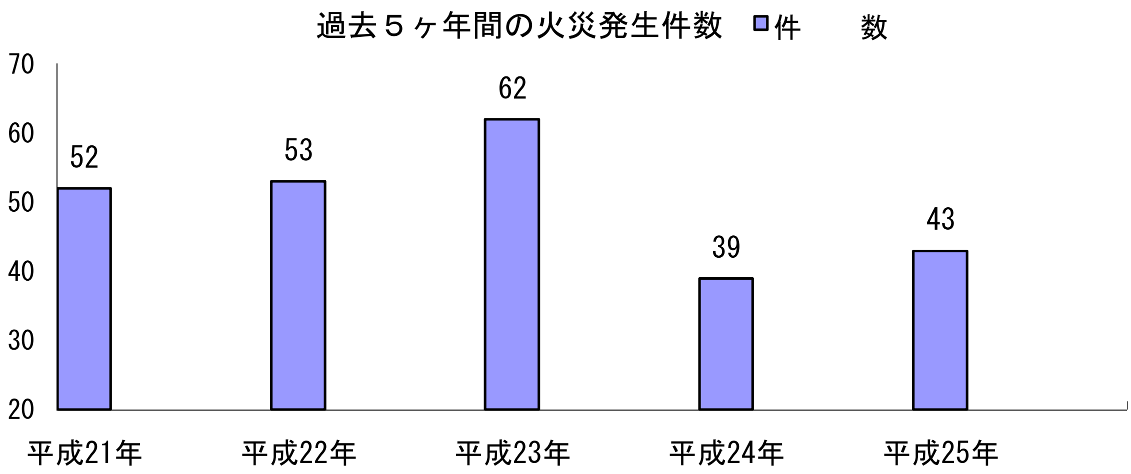
平成２５年中の市町村別の出火件数は、筑紫野市２５件、太宰府市１８件となっている。

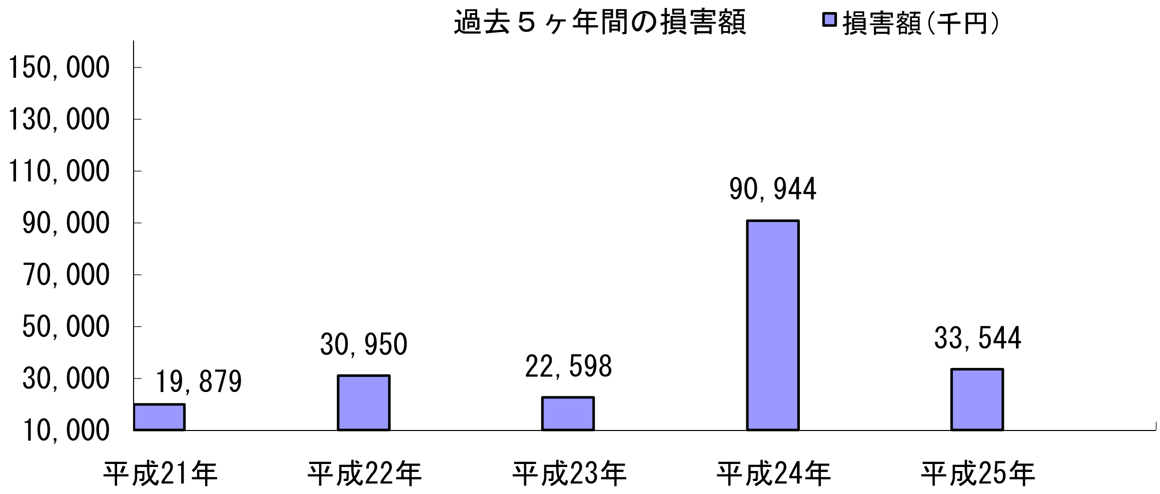
火災種別毎の比較では、建物火災２３件（全体の約５３．５%）、林野火災０件（同０%）、車両火災１０件（同約２３．３%）、その他の火災１０件（同約２３．３%）となっている。

⑵　損害額

建物火災を焼損棟数別に分類すると、全焼２棟、半焼２棟、部分焼４棟、ぼや１６棟となっている。

建物火災の損害額は３１，４８９千円、車両火災の損害額は２，０２１千円、その他火災の損害額は３４千円である。





２　火災種別及び建物火災の損害額３ヶ年比較

区分 ＼ 年別			平成２３年	平成２４年	平成２５年
総件数		(件)	62	39	43
火災種別	建物火災	(件)	30	25	23
	爆発	(件)	0	0	0
	林野火災	(件)	2	2	0
	車両火災	(件)	10	4	10
	その他火災	(件)	20	8	10
り災世帯数		(世帯)	31	12	15
り災人員		(人)	74	27	25
焼損棟数		(棟)	41	29	24
内訳	全焼	(棟)	11	5	2
	半焼	(棟)	2	1	2
	部分焼	(棟)	9	9	4
	ぼや	(棟)	19	14	16
建物焼損床面積		(㎡)	593	1,109	376
建物焼損表面積		(㎡)	96	68	6
林野焼損面積		(a)	0	23	0
死者		(人)	4	1	2
負傷者		(人)	4	8	4

３　平成２５年火災概要

区分 ＼ 市別			筑紫野市	太宰府市	合計
総件数		（件）	25	18	43
火災種別	建物火災	（件）	14	9	23
	爆発	（件）	0	0	0
	林野火災	（件）	0	0	0
	車両火災	（件）	6	4	10
	その他火災	（件）	5	5	10
り災世帯数		（世帯）	6	9	15
り災人員		（人）	11	14	25
建物損害額		（千円）	12,537	4,923	17,460
建物収容物損害額		（千円）	12,467	1,562	14,029
林野損害額		（千円）	0	0	0
車両損害額		（千円）	1,960	61	2,021
爆発損害額		（千円）	0	0	0
その他損害額		（千円）	22	12	34
損害額合計		（千円）	26,986	6,558	33,544
焼損棟数		（棟）	14	10	24
内訳	全焼	（棟）	1	1	2
	半焼	（棟）	1	1	2
	部分焼	（棟）	4	0	4
	ぼや	（棟）	8	8	16
建物焼損床面積		（㎡）	295	81	376
建物焼損表面積		（㎡）	3	3	6
林野焼失面積		（a）	0	0	0
死者		（人）	0	2	2
負傷者		（人）	2	2	4

４　覚知別火災概要

（平成25年）

区分 種別	合計	火災報知専用電話	警察電話	加入電話	その他
出火件数	43	28		2	13
建物	23	13		1	9
林野					
車両	10	8		1	1
船舶					
航空機					
その他	10	7			3
焼損棟数	24	14		1	9
全焼	2	2			
半焼	2	2			
部分焼	4	4			
ぼや	16	6		1	9
建物焼損床面積（㎡）	376	376			
建物焼損表面積（㎡）	6	5			1
林野焼損面積　（ａ）					
死者	2	2			
負傷者	4	3			1
り災世帯数	15	8		1	6
全損	1	1			
半損	1	1			
小損	13	6		1	6
り災人員	25	13		2	10
損害額　（千円）	33,544	33,366		10	168
建物	31,489	31,373		10	106
林野					
車両	2,021	1,981			40
船舶					
航空機					
その他	34	12			22
爆発					

５　月・日別火災発生件数

（平成25年）

月＼日	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
合　計	43	3	2	5	8	5	3	5	2	4	1	2	3	
１日	5	1	1		3									
２日	2				1			1						
３日	3			1		2								
４日	2			2										
５日	1				1									
６日	2					1				1				
７日	1			1										
８日	1						1							
９日	1									1				
１０日														
１１日														
１２日	1									1				
１３日	1							1						
１４日	1												1	
１５日	2							1	1					
１６日	2						1					1		
１７日	1							1						
１８日														
１９日														
２０日	1						1							
２１日	3								1		1		1	
２２日	1											1		
２３日	2				1	1								
２４日	1				1									
２５日	4	1	1		1			1						
２６日														
２７日	1			1										
２８日	3					1				1			1	
２９日														
３０日	1	1												
３１日														
不　明														

６　月・曜日別火災発生概況　（１）

（平成25年）

区分	出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者負傷者	
月・曜	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積（㎡）	建物表面積（㎡）	林野（ａ）	死者	負傷者
計	43	23		10			10	24	2	2	4	16	376	6		2	4
１　月	3			2			1										
２　月	2	2						2				2		2		1	1
３　月	5	4					1	4		1	2	1	211				2
４　月	8	6		1			1	7	1			6	54	1		1	1
５　月	5	2		1			2	2				2					
６　月	3	1		1			1	1		1			27				
７　月	5	4					1	4	1		1	2	84				
８　月	2			1			1										
９　月	4	2		1			1	2				2		1			
10　月	1	1						1			1			2			
11　月	2	1		1				1				1					
12　月	3			2			1										
不　明																	
計	43	23		10			10	24	2	2	4	16	376	6		2	4
日曜日	2	2						2		2			207				
月曜日	10	9					1	9			3	6	14	4		2	3
火曜日	5	3		1			1	4	2			2	135	1			
水曜日	5	3		2				3			1	2	20				1
木曜日	7	2		1			4	2				2					
金曜日	7	2		4			1	2				2		1			
土曜日	7	2		2			3	2				2					
不　明																	

６　月・曜日別火災発生概況（２）

（平成25年）

区分 月・曜	り災世帯数				り災人員	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
合　計	15	1	1	13	25	33,544	31,489		2,021			34	
１　月						180			180				
２　月	3			3	3	3,231	3,231						
３　月	1			1	2	15,663	15,641					22	
４　月	7	1		6	13	1,467	1,057		400			10	
５　月						8	2		5			1	
６　月	1		1		2	2,190	2,188		1			1	
７　月	1			1	2	9,288	9,288						
８　月						38			38				
９　月	2			2	3	171	51		120				
10　月						2	2						
11　月						1,291	29		1,262				
12　月						15			15				
不　明													
計	15	1	1	13	25	33,544	31,489		2,021			34	
日曜日	1		1		2	16,081	16,081						
月曜日	5			5	7	4,707	4,697					10	
火曜日	3	1		2	7	10,429	10,288		140			1	
水曜日	2			2	2	436	358		78				
木曜日	2			2	4	29	6		1			22	
金曜日	1			1	1	1,807	20		1,787				
土曜日	1			1	2	55	39		15			1	
不　明													

7　出火原因別火災発生概況（1）

（平成25年）

種別／原因別	出火件数 計	出火件数 建物	出火件数 林野	出火件数 車両	出火件数 船舶	出火件数 航空機	出火件数 その他	焼損棟数 計	焼損棟数 全焼	焼損棟数 半焼	焼損棟数 部分焼	焼損棟数 ぼや	焼損面積 床面積（㎡）	焼損面積 表面積（㎡）	焼損面積 林野（a）	死者	負傷者
合　　　計	43	23		10			10	24	2	2	4	16	376	6		2	4
た　ば　こ	4	3		1				3			1	2	20	1		1	2
こ　ん　ろ	5	5						6	1			5	53	2			
か　ま　ど																	
風呂かまど																	
炉																	
焼　却　炉																	
ス ト ー ブ	2	2						2			1	1	11				2
こ　た　つ																	
ボ イ ラ ー																	
煙突・煙道																	
排　気　管	1			1													
電 気 機 器																	
電 気 装 置																	
電灯・電話等の配線																	
内 燃 機 関																	
配 線 器 具	1						1										
火 あ そ び																	
マッチ・ライター																	
た　き　火																	
溶接機・切断機	1	1						1				1					
灯　　　火																	
衝突の火花	1			1													
取　　　灰																	
火　入　れ	3						3										
放　　　火	5	4					1	4				4		1		1	
放火の疑い	2	1		1				1	1				82				
そ　の　他	14	6		4			4	6		2	2	2	209	2			
不明・調査中	4	1		2			1	1				1	1				

7　出火原因別火災発生概況（２）

（平成25年）

種別 原因別	り災世帯数				り災人員	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
合計	15	1	1	13	25	33,544	31,489		2,021			34	
たばこ	4			4	4	3,681	3,561		120				
こんろ	6	1		5	13	1,065	1,065						
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ	2			2	4	1,439	1,439						
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管						38			38				
電気機器													
電気装置													
電灯・電話等の配線													
内燃機関													
配線器具						1						1	
火あそび													
マッチ・ライター													
たき火													
溶接機・切断機													
灯火													
衝突の火花						40			40				
取灰													
火入れ						23						23	
放火	1			1	1	40	30					10	
放火の疑い						9,265	9,260		5				
その他	1		1		2	17,927	16,124		1,803				
不明・調査中	1			1	1	25	10		15				

救　　急　　編

AMBULANCE COMPILE

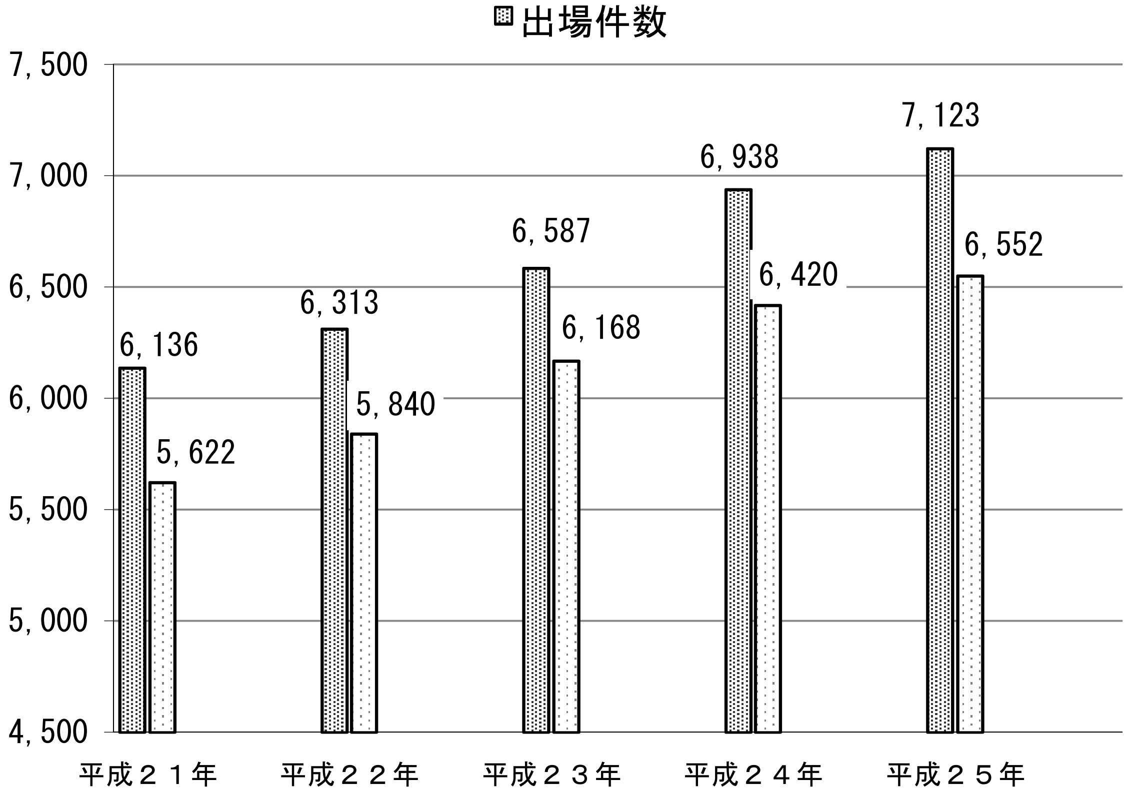
１　救急業務の現況

平成２５年中における当消防本部の救急業務実施状況は、救急出場件数７，１２３件、前年と比較すると１８５件増加し、搬送人員も前年に比べ１３２人増加し６，５５２人となっており、平成２１年に6,０００件を超え、４年で約１，０００件増加している。

救急種別ごとの主な出場件数は、急病が最も多く４，４８１件（約６２．９%)、次に一般負傷１，０４１件（約１４．６%)、交通事故６７７件（約９．５%)、転院搬送６１５件（約８．６%)、となっている。

今後も高齢化に伴い、救急件数の増加が十分に考えられるため、救急業務の更なる充実を図っていく一方で、救急車の適正利用についても市民の皆様に協力をお願いしていくものである。

過去５ヶ年間の出場件数及び搬送人員



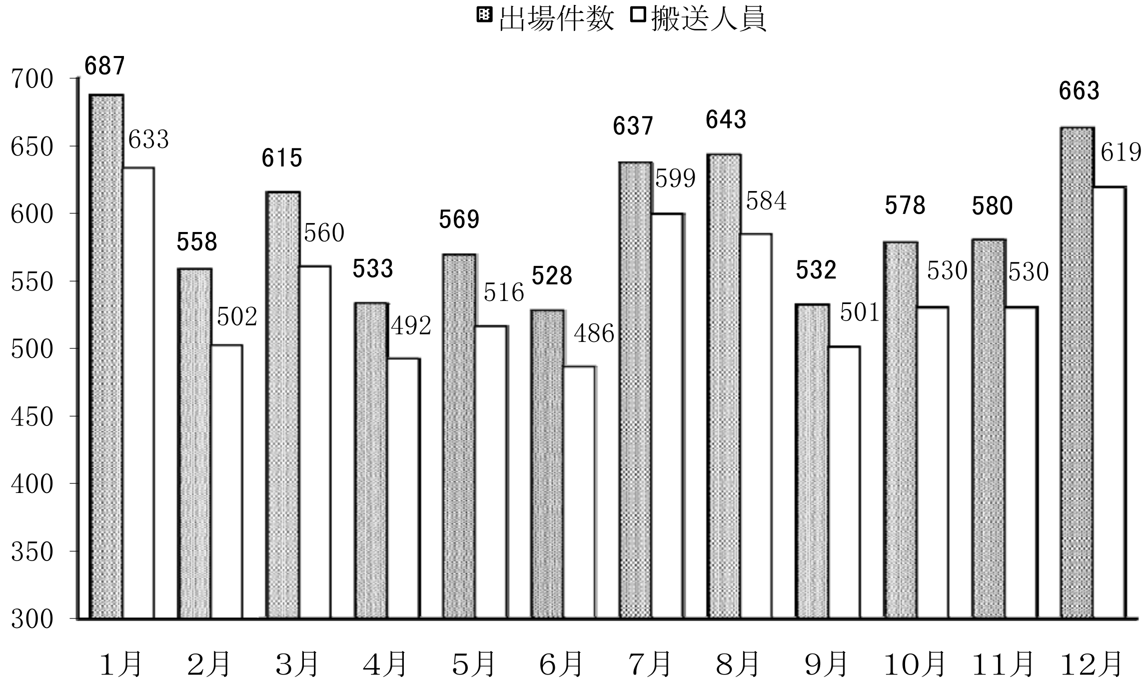
2　救急概要

（平成25年）

区分		事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他 転院搬送	その他 医師等搬送	その他 資機材輸送	その他 その他	合計
発生地別救急活動	出場件数	筑紫野市	14		3	351	37	30	597	23	41	2,571	415	1	1	21	4,105
		太宰府市	9		1	279	38	23	443	7	47	1,891	200			10	2,948
		管外・高速	1			47	2		1			19					70
		計	24		4	677	77	53	1,041	30	88	4,481	615	1	1	31	7,123
	搬送人員	筑紫野市	2		3	365	36	31	555	20	16	2,287	413			4	3,732
		太宰府市	2		1	279	38	24	419	5	37	1,740	198				2,743
		管外・高速				56	2		1			18					77
		計	4		4	700	76	55	975	25	53	4,045	611			4	6,552
署所別救急活動	出場件数	筑紫野署	9		1	212	17	14	334	12	26	1,385	270	1		9	2,290
		南出張所	1		2	119	16	10	181	8	11	798	93		1	7	1,247
		太宰府署	11		1	217	20	14	282	5	30	1,343	133			6	2,062
		東出張所	3			129	24	15	244	5	21	955	119			9	1,524
		計	24		4	677	77	53	1,041	30	88	4,481	615	1	1	31	7,123
	搬送人員	筑紫野署	1		1	217	17	14	308	10	13	1,232	270			4	2,087
		南出張所			2	128	15	11	173	7	4	719	93				1,152
		太宰府署	2		1	220	20	14	264	4	22	1,207	131				1,885
		東出張所	1			135	24	16	230	4	14	887	117				1,428
		計	4		4	700	76	55	975	25	53	4,045	611			4	6,552

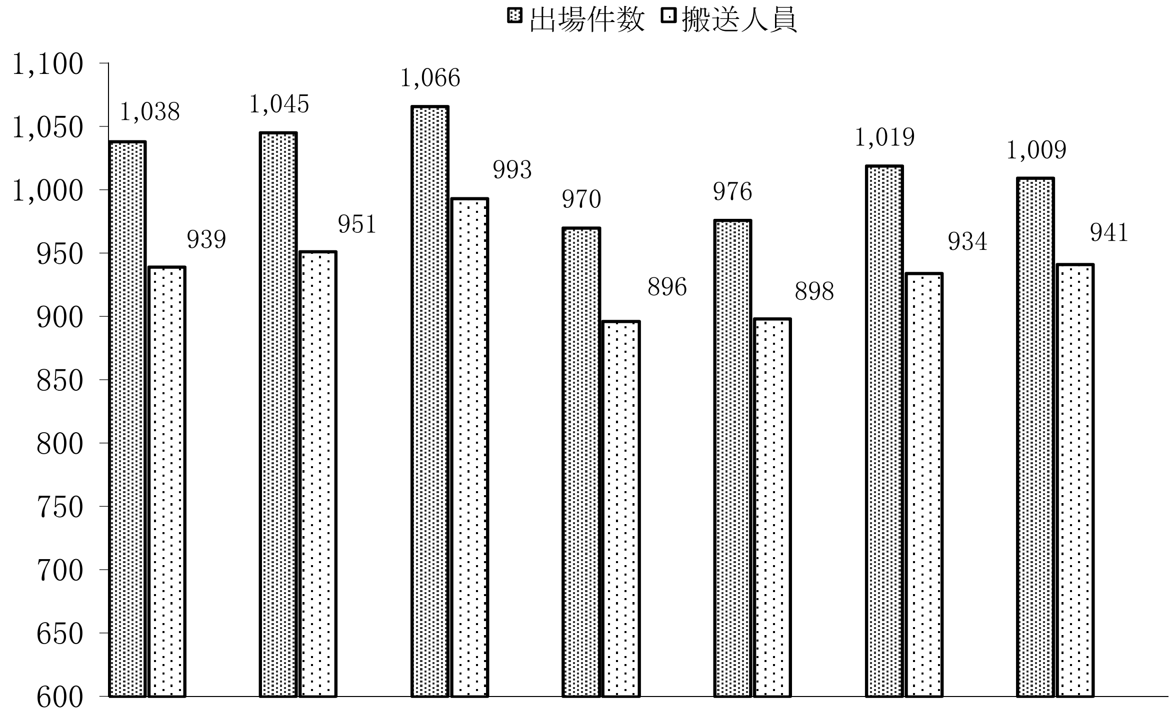
3　月別救急活動状況

（平成25年）



4　曜日別救急活動状況

（平成25年）



５　時間別出場状況

（平成25年）

事故種別／時間	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師等搬送	資機材輸送	その他	
計	24		4	677	77	53	1,041	30	88	4,481	615	1	1	31	7,123
0～2	1			12			37	4	8	242	14			3	321
2～4	4			13	1		34	2	7	192	3			5	261
4～6			1	15			26	1	6	216	6				271
6～8	2			52	2		64	1	5	328	4			1	459
8～10				87	9	4	103	2	5	449	60			3	722
10～12				84	17	12	129		9	461	142	1		2	857
12～14			1	77	9	10	117	2	11	414	98		1	4	744
14～16	1			67	16	9	121	1	9	411	103			2	740
16～18	5		1	96	14	8	138	4	9	457	89			4	825
18～20	5			89	6	4	121	3	13	456	42			2	741
20～22	5		1	50	1	5	83	6	2	448	34			2	637
22～24	1			35	2	1	68	4	4	407	20			3	545

６　時間別搬送人員状況

（平成25年）

事故種別／時間	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
計	4		4	700	76	55	975	25	53	4,045	615	6,552
0～2				8			35	3	5	206	14	271
2～4				16	1		29	2	3	174	3	228
4～6			1	16			23	1	4	201	6	252
6～8				51	2		61		4	292	4	414
8～10				95	9	4	102	1	3	406	60	680
10～12				94	17	12	125		3	423	142	816
12～14			1	84	9	12	111	2	6	384	97	706
14～16				65	16	9	111	1	5	374	104	685
16～18			1	100	13	8	126	4	5	412	89	758
18～20	2			90	6	4	112	3	9	410	42	678
20～22	2		1	45	1	5	79	5	2	397	33	570
22～24				36	2	1	61	3	4	366	21	494

7　事故種別医療機関別搬送人員状況

（平成25年）

告示別	開設者別		急病	うち管外	交通	うち管外	一般負傷	うち管外	その他	うち管外	計	うち管外
救急医療機関	国立		56	56	7	7	9	9	10	10	82	82
	公立		2	2					1	1	3	3
	公的		1,971	58	230	14	380	14	320	25	2,901	111
	私的	病院	1,745	727	367	224	482	200	407	207	3,001	1,358
		診療所	3	3	13	13	7	7	1	1	24	24
	計		3,777	846	617	258	878	230	739	244	6,011	1,578
その他の医療機関	国立		32	32	5	5	12	12	4	4	53	53
	公立		4	4			1	1	2	2	7	7
	公的		1	1					1	1	2	2
	私的	病院	175	82	28	15	43	18	74	57	320	172
		診療所	56	13	50	1	41	1	12	4	159	19
	計		268	132	83	21	97	32	93	68	541	253
合計	国立		88	88	12	12	21	21	14	14	135	135
	公立		6	6			1	1	3	3	10	10
	公的		1,972	59	230	14	380	14	321	26	2,903	113
	私的	病院	1,920	809	395	239	525	218	481	264	3,321	1,530
		診療所	59	16	63	14	48	8	13	5	183	43
	計		4,045	978	700	279	975	262	832	312	6,552	1,831
その他の場所	接骨院等											
	その他											
	計											
合計			4,045	978	700	279	975	262	832	312	6,552	1,831

８　救急隊員の行った応急処置

（平成25年）

区　　　分	合　　計	急病	交通事故	一般負傷	その他
合計	31,365	19,381	3,395	4,524	4,065
止血	99	15	13	55	16
固定	906	68	494	268	76
人工呼吸	8	3		2	3
胸骨圧迫	3	1		2	
心肺蘇生法	136	105	3	12	16
酸素吸入	1,763	1,260	62	120	321
気道確保	287	221	6	23	37
（うち気管挿管）	5	4		1	
保温	44	17	10	10	7
被覆	349	15	104	186	44
在宅療法	12	11		1	
除細動	21	19			2
静脈路確保	50	40		5	5
薬剤投与	18	14		3	1
その他応急処置	5,833	3,735	508	842	748
血圧測定	6,202	3,823	669	910	800
心音・呼吸音等	3,770	2,518	385	402	465
血中酸素飽和度	6,375	3,921	687	948	819
心電図	5,489	3,595	454	735	705

９　　口頭指導実施状況

（平成25年）

月 区分	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
月計	301	257	308	303	294	261	347	343	283	318	285	322	3,622

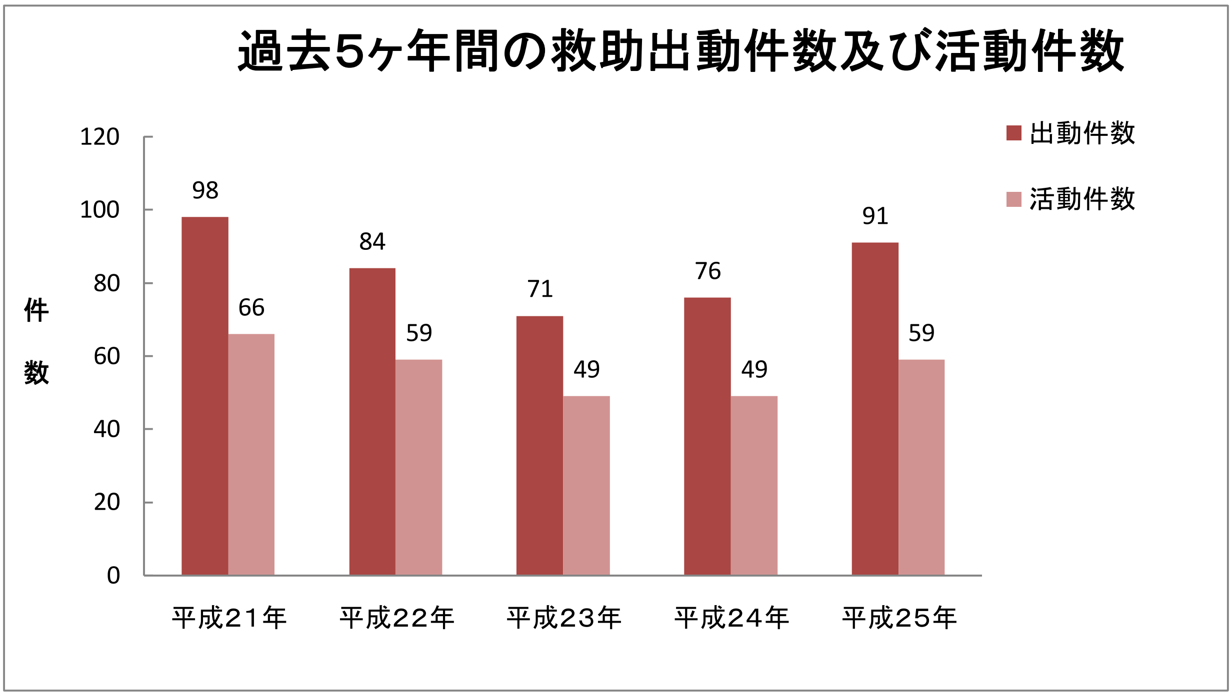
救　助　編

RESCUE　COMPILE

１　救助業務の現況

　平成２５年中の救助出動件数は９１件で、そのうち活動件数５９件、救助人員６６人で前年と比較すると、出動件数並びに活動件数は増加傾向に推移している。出動件数の主な内訳は、交通事故が３９件（全体の約４２．８%、前年比＋０件)、その他の事故が４２件（全体の約４６．１%、前年比＋１８件）となっており、救助出動件数の約８９%を占めている。

　当消防本部の管内における事故種別状況でも記しているように、その他の事故が昨年から増加傾向にあり、その中でも山岳救助の出動件数が５件から１４件と大幅に増加している。特に当管内の宝満山は福岡都市圏内で、近年の登山ブームも相まって年間を通じて約７万人の登山者が訪れており、今後も登山者が増加することが予想される。また、当管内は交通の要衝地となっており、交通量も年々増加の一途をたどっている。さらに、福岡都市圏としての地理的条件も相まって、高層建築物や大型建築物等が増加し都市化の傾向にあり、このような状況下で火災をはじめ、あらゆる災害が複雑多様化してきている。そこで、救助隊員の資質の向上を図るため、各種教育機関への入校をはじめ、専門資格の取得、近隣消防本部との合同訓練を積極的に実施するなど、高度な知識及び救助技術を習得するための教育等を行っている。



２　事故種別救助活動状況

（平成25年）

件数区分 ＼ 事故種別		火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
出動件数		1		39	2		1	5	1		42	91
活動件数		1		17	1		1	4	1		34	59
救助人員		2		24	1		1	4			34	66
搬送車両の内訳	救急自動車	2		24	1		1	3			21	52
	ヘリコプター										1	1
	消防機関のその他の車両等											
	消防機関以外の車両等											
	合計	2		24	1		1	3			22	53

３　事故種別・発生場所別出動状況

（平成25年）

発生場所 ＼ 事故種別			火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
屋内	住居		1						4	1		9	15
	その他の屋内							1				3	4
屋外	道路	高速自動車道			7								7
		その他の道路			27							3	30
	内水面					2						3	5
	外水面												
	山岳											14	14
	その他の屋外				5				1			10	16
地下													
その他													
計			1		39	2		1	5	1		42	91

4　事故種別・発生場所別救助活動状況

（平成25年）

発生場所 ＼ 事故種別		火災 建物 活動件数	火災 建物 救助人員	火災 建物以外 活動件数	火災 建物以外 救助人員	交通事故 活動件数	交通事故 救助人員	水難事故 活動件数	水難事故 救助人員	自然災害 活動件数	自然災害 救助人員	機械等による事故 活動件数	機械等による事故 救助人員	建物等による事故 活動件数	建物等による事故 救助人員	ガス及び酸欠事故 活動件数	ガス及び酸欠事故 救助人員	爆発事故 活動件数	爆発事故 救助人員	その他の事故 活動件数	その他の事故 救助人員	合計 活動件数	合計 救助人員
屋内	住居	1	2											4	4	1				6	6	12	12
屋内	その他の屋内											1	1							3	3	4	4
屋外	道路 高速自動車道					4	4															4	4
屋外	道路 その他の道路					13	20													2	2	15	22
屋外	内水面							1	1											2	2	3	3
屋外	外水面																						
屋外	山岳																			14	14	14	14
屋外	その他の屋外																			7	7	7	7
地下																							
その他																							
計		1	2			17	24	1	1			1	1	4	4	1				34	34	59	66

5　事故種別・出動人員・活動人員状況

（平成25年）

区分 ＼ 事故種別		火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
出動人員	専任救助隊員	4		148	6		3	15	6		142	324
出動人員	兼任救助隊員											
出動人員	消防隊員	18		273	17		8	6	9		201	532
出動人員	救急隊員	2		174	7		6	9	3		115	316
出動人員	消防団員											
出動人員	計	24		595	30		17	30	18		458	1, 172
活動人員	専任救助隊員	4		48	3		3	11	6		95	170
活動人員	兼任救助隊員											
活動人員	消防隊員	9		106	8		8	6	9		154	300
活動人員	救急隊員			75	3		3	6	3		88	178
活動人員	消防団員											
活動人員	計	13		229	14		14	23	18		337	648

通　　信　　編

ORDER　CONNECTION

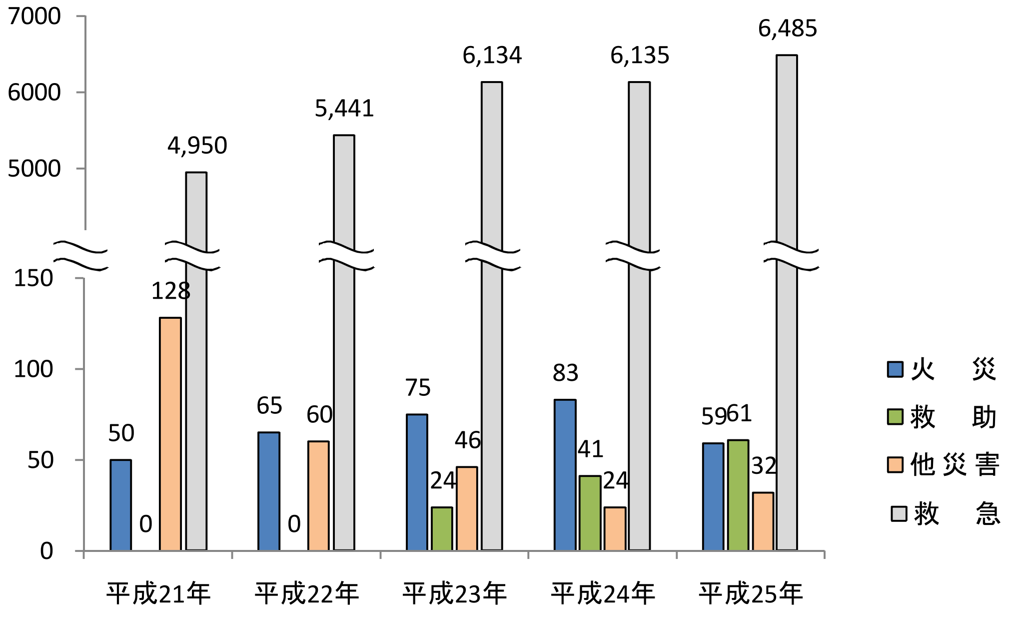
１　通信業務の概要

　消防の通信は、有線通信と無線通信に大別され、有線通信は主に災害覚知から出動まで、無線通信は出動指令確認から現場終了（帰署）までに区分されて活用されています。
　通信指令業務は、消防活動の中枢的役割を果たすもので、災害通報の受付、災害が発生した場合の迅速かつ的確な防災活動を展開するための情報の収集・伝達体制を確立することが極めて重要であり、あらゆる災害に迅速な対応が求められています。
　当消防本部では、平成23年3月に太宰府消防署に、最先端の通信システムを備えた高機能消防指令センターを開設し、迅速な災害点の把握、的確な出動部隊の選択決定、出動指令、支援情報の提供など、災害等の通報から現場到着時間の短縮、現場活動支援の強化を図り、消防部隊の合理的かつ効果的な運用を行うことができます。
　平成２５年中の１１９番受付総件数は、11,122件を数え、1日平均約30件となっています。
　１１９番通報のうち携帯電話(37%)からの通報が最も多く、続いて固定電話(29%)、ＩＰ電話(26%)となっています。
　消防団への出動要請は、指令台と結ばれている管内17ケ所のサイレンを吹鳴して筑紫野市消防団員・太宰府市消防団員の召集を行います。また、ガス、電気会社等の防災関係機関へも専用線等のホットラインにより災害発生を短時間で連絡できるようになっています。
　災害発生時における市民への災害発生案内方法としては、災害情報ダイヤル（923-1191）や災害情報ネットメール（1,967件登録）による災害配信サービスを含め筑紫野太宰府消防本部ホームページを開設し、消防情報を提供しています。
　また、救急医療情報サービスとしては、当消防本部ホームページで、筑紫地区や管内の休日や夜間の当番病院を紹介しています。なお、消防本部に直接電話され、管内の当番病院等の情報を問い合わされた件数は、3,060件（平成25年中）となっています。

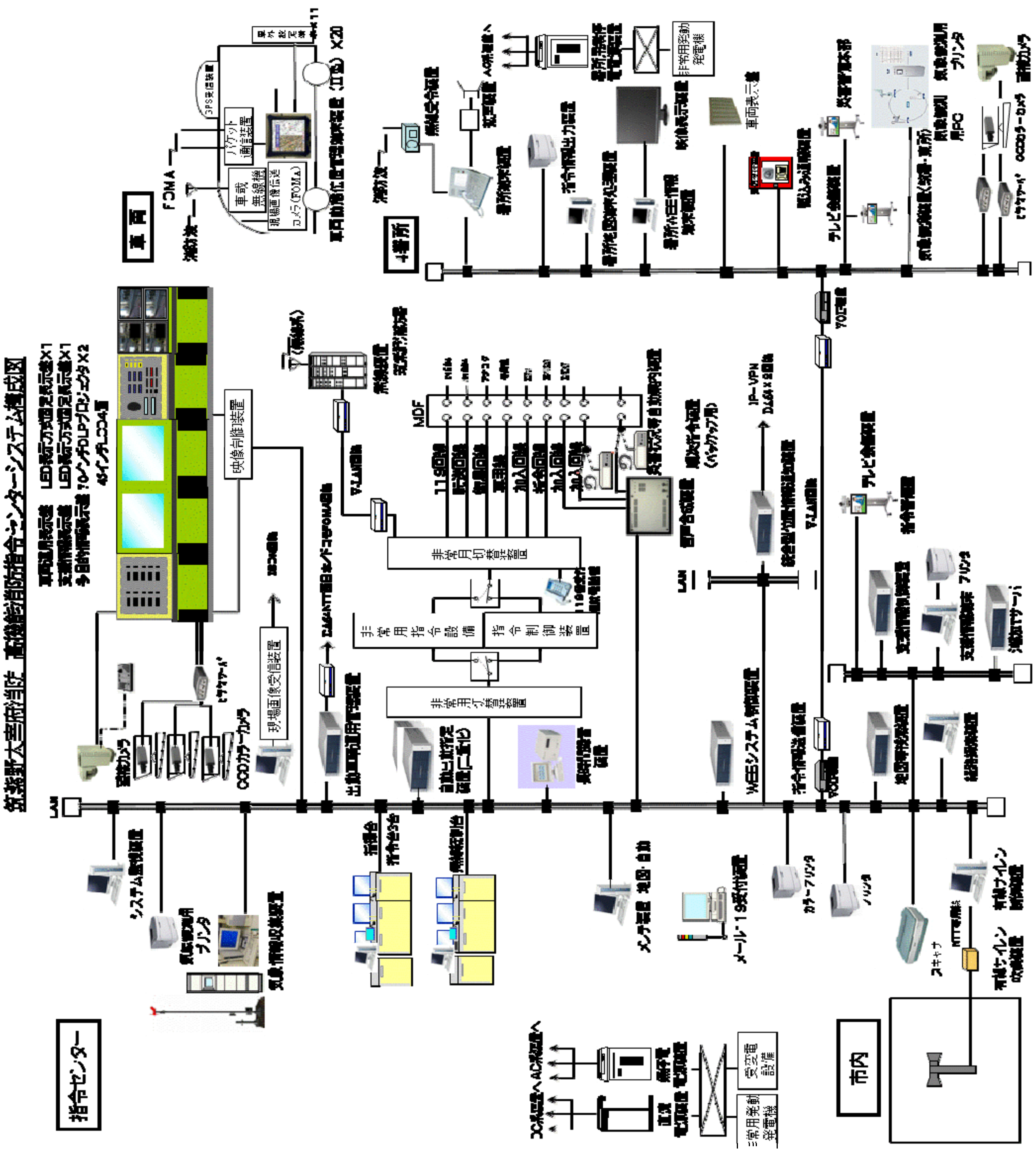
過去５ヶ年間の災害別１１９番通報受信件数

内容＼年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
火　　災	50	65	75	83	59
救　　急	4,950	5,441	6,134	6,135	6,485
救　　助	（－）	（－）	24	41	61
他 災 害	128	60	46	24	32

※救助については、消防指令センター開設に伴い平成２３年３月８日以降の状況となります。



２　消防緊急通信指令システム系統図



３　無線施設一覧表

ア　基地局　　（平成２５年１２月３１日現在）

無線局種	呼出名称	設置場所	周波数(MHZ)	製造番号		型式名		出力(W)	購入年月
基地局	しょうぼうちくし	太宰府消防署	153.85	第1装置	900029-1	DB3C2A1-4A	（現用）	10	H.9.4
				第2装置	900029-2	〃	（予備）	10	〃
			152.77	第3装置	900030-1	〃	（現用）	10	〃
				第4装置	900030-2	〃	（予備）	10	〃
			150.73	第5装置	900031-1	〃	（現用）	10	〃
				第6装置	900031-2	〃	（予備）	10	〃
			148.75	第7装置	900032-1	〃	（現用）	10	〃
				第8装置	900032-2	〃	（予備）	10	〃
			154.15	第9装置	900033-1	〃	（現用）	10	〃
				第10装置	900033-2	〃	（予備）	10	〃
			147.5 143.5	第11装置	900034-1	DB3C2A2-4A	（現用）	10	〃
				第12装置	900034-2	〃	（予備）	10	〃

イ　陸上移動局　　（平成２５年１２月３１日現在）

無線種別	呼出名称	設置場所	メーカー	製造番号	型式名	出力(W)	購入年月
卓上型	しょうぼうちくしさいがい	消防本部内	NEC	BB2620	JEZ-820-A	10	H.23.3
車載移動局	しょうぼうちくし11	太宰府署内	富士通ゼネラル	2100457	CM-5086MT	10	H.22.11
	しょうぼうちくし12	消防本部内	〃	2005766	CM-5538MT	10	H.7.6
	しょうぼうちくし13	〃	〃	5121	CM-5525M	10	S.60.3
	しょうぼうちくし20	筑紫野署内	〃	2003040	CM-5538MT	10	H.4.6
	しょうぼうちくし21	〃	〃	2001119	CM-5086MT	10	H.18,10
	しょうぼうちくし22	〃	〃	2002315	CM-5066MT	10	H.13.11
	しょうぼうちくし23	〃	〃	2100276	CM-5086MT	10	H.21.12
	しょうぼうちくし24	〃	〃	2001788	CM-5066MT	10	H.13.3
	しょうぼうちくし25	〃	〃	2001971	CM-5086MT	10	H.20.12
	しょうぼうちくし26	〃	〃	5028	CM-5538MT	10	H.3.8
	しょうぼうちくし27	〃	〃	2007405	CM-5538MT	10	H.9.1
	しょうぼうちくし28	〃	〃	2101967	CM-5538MT	10	H.3.3
	しょうぼうちくし31	太宰府署内	〃	2000960	CM-5066MT	10	H.11.12
	しょうぼうちくし32	〃	〃	2001834	CM-5086MT	10	H.20.2
	しょうぼうちくし33	〃	〃	2000075	CM-5086MT	10	H.17.2
	しょうぼうちくし34	〃	〃	J983	CM-5519	10	S.51.6
	しょうぼうちくし36	〃	〃	2005614	CM-5538MT	10	H.6.12
	しょうぼうちくし38	〃	〃	5008	CM-5525M	10	S.55.10
	しょうぼうちくし53	南出張所内	〃	2008376	CM-5538MT	10	H.10.2
	しょうぼうちくし63	東出張所内	〃	2003442	CM-5066MT	10	H.16.2
	きゅうきゅうちくし1	筑紫野署内	〃	2200184	CM-5086CMT	10	H.24.1
	きゅうきゅうちくし2	南出張所内	〃	2001689	CM-5086CMT	10	H.19.12
	きゅうきゅうちくし3	筑紫野署内	〃	2002771	CM-5066MT	10	H.15.1
	きゅうきゅうちくし5	太宰府署内	〃	2000958	CM-5066MT	10	H.18.3
	きゅうきゅうちくし6	東出張所内	〃	2200089	CM-5066CMT	10	H.22.3
	きゅうきゅうちくし7	太宰府署内	〃	2000202	CM-5086CMT	10	H.17.2

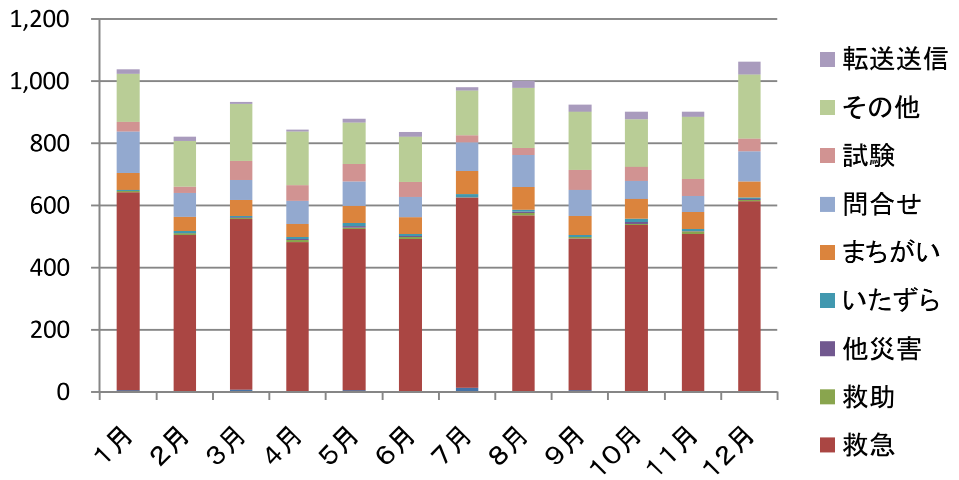
ウ　陸上移動局(携帯)　　（平成２５年１２月３１日現在）

無線種別	呼出名称	設置場所	メーカー	製造番号	型 式 名	出力(W)	購入年月
携帯移動局	しょうぼうちくし100	筑紫野署内	富士通ゼネラル	2500248	CP-5069T	5	H.24.1
	しょうぼうちくし200	南出張所内	〃	2501646	CP-5068T	5	H.19.12
	しょうぼうちくし300	筑紫野署内	〃	2001093	CP-5462T	5	H.7.10
	しょうぼうちくし500	太宰府署内	アイコム	6203361	IC-VH37MFT	5	H.24.11
	しょうぼうちくし600	東出張所内	富士通ゼネラル	2502606	CP-5068T	5	H.22.3
	しょうぼうちくし700	太宰府署内	〃	2000164	CP-5465T	5	H.10.2
	しょうぼうちくし201	筑紫野署内	〃	2500329	CP-5067T	5	H.11.1
	しょうぼうちくし202	〃	〃	2500232	CP-5068T	5	H.16.12
	しょうぼうちくし203	〃	〃	2502389	CP-5068T	5	H.21.12
	しょうぼうちくし204	〃	アイコム	6202200	IC-VH37MFT	5	H.23.12
	しょうぼうちくし205	〃	富士通ゼネラル	2502137	CP-5068T	5	H.20.12
	しょうぼうちくし211	〃	〃	2001091	CP-5462T	5	H.7.10
	しょうぼうちくし30	太宰府署内	〃	2500330	CP-5067T	5	H.11.1
	しょうぼうちくし301	〃	〃	2500524	CP-5069T	5	H.25.11
	しょうぼうちくし302	〃	〃	2502290	CP-5067T	5	H.14.11
	しょうぼうちくし303	〃	アイコム	6202440	IC-VH37MFT	5	H.24.2
	しょうぼうちくし306	〃	富士通ゼネラル	2001092	CP-5462T	5	H.7.10
	しょうぼうちくし311	〃	〃	2500436	CP-5068T	5	H.17.3
	しょうぼうちくし503	南出張所内	〃	2500425	CP-5069T	5	H.25.3
	しょうぼうちくし603	東出張所内	〃	2502765	CP-5067T	5	H.16.2
	しょうぼうちくし17	消防本部内	〃	2501551	CP-5067T	5	H.13.3
	しょうぼうちくし18	〃	〃	2501073	CP-5067T	5	H.12.3

４　１１９総受信状況

（平成25年）

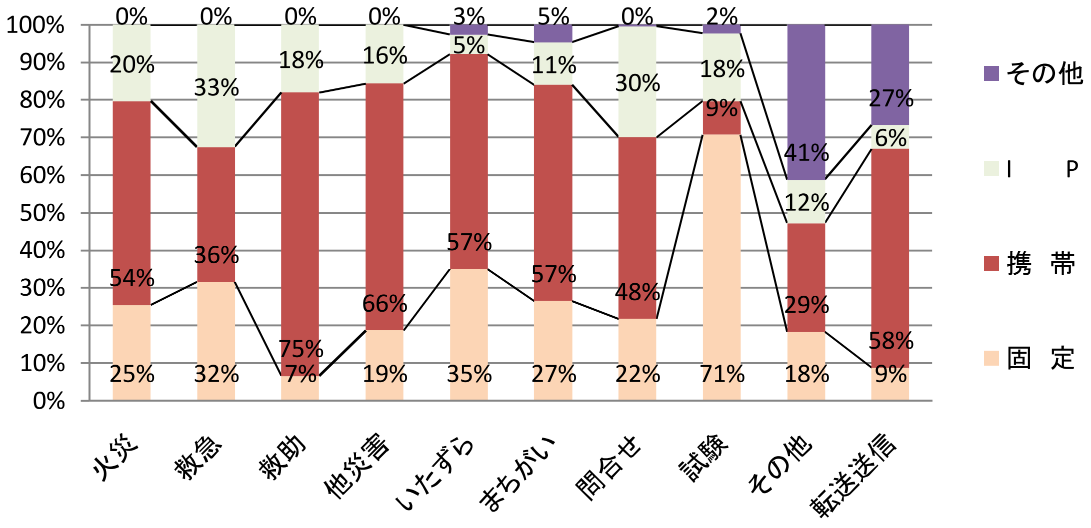
内容＼月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合　計
火　災	5	4	8	3	5	3	14	3	6	3	3	2	59
救　急	637	500	548	478	520	489	609	565	488	534	506	611	6,485
救　助	4	6	3	9	4	6	3	7	3	5	7	4	61
他災害	0	1	2	2	4	3	2	5	0	6	3	4	32
いたず	4	7	5	6	11	6	8	6	6	9	5	4	77
まちが	53	45	51	42	55	54	75	73	62	64	54	53	681
問合せ	135	77	64	76	79	66	91	102	86	58	52	96	982
試　験	31	21	61	48	54	47	23	24	63	46	56	42	516
その他	154	146	184	173	134	148	145	193	188	152	200	206	2,023
転送送信	14	15	7	7	14	14	11	22	22	24	16	40	206
合　計	1,037	822	933	844	880	836	981	1,000	924	901	902	1,062	11,122



５　回線別１１９受信状況

（平成25年）

内容＼月	火災	救急	救助	他災害	いたずら	まちがい	問合せ	試験	その他	転送送信	合　計
固　定	15	2,045	4	6	27	181	214	365	370	18	3,245
携　帯	32	2,331	46	21	44	391	474	46	585	120	4,090
I　P	12	2,109	11	5	4	77	290	93	234	13	2,848
その他	0	0	0	0	2	32	4	12	834	55	939
合　計	59	6,485	61	32	77	681	982	516	2,023	206	11,122



６　各回線月別受信状況

ア　固定１１９受信状況

（平成25年）

内容＼月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
火　災	2	1	2	1	2	2	5	0	0	0	0	0	15
救　急	212	156	180	157	141	151	188	178	149	177	173	183	2,045
救　助	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
他災害	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	1	6
いたずら	2	7	1	3	6	2	1	1	0	4	0	0	27
まちがい	17	13	13	13	16	13	19	18	12	14	19	14	181
問合せ	27	19	15	19	14	21	20	19	16	12	11	21	214
試　験	23	16	41	39	38	28	21	19	45	34	36	25	365
その他	32	44	30	34	26	27	21	14	26	20	52	44	370
転送送信	0	1	2	3	2	2	0	3	1	1	2	1	18
合　計	315	257	285	272	246	247	275	252	249	264	294	289	3,245

イ　携帯１１９受信状況

（平成25年）

内容＼月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
火　災	3	3	5	1	2	0	5	2	4	3	3	1	32
救　急	203	167	191	169	196	172	245	217	178	200	176	217	2,331
救　助	4	5	3	5	3	3	2	5	2	5	6	3	46
他災害	0	1	0	1	3	2	1	5	0	3	2	3	21
いたずら	2	0	3	3	5	4	6	3	6	5	4	3	44
まちがい	23	23	25	15	30	31	51	49	41	43	32	28	391
問合せ	59	44	29	30	41	33	47	52	41	27	21	50	474
試　験	3	3	12	1	5	7	0	0	8	3	4	0	46
その他	37	33	62	57	39	52	54	72	51	32	47	49	585
転送送信	12	11	3	3	11	12	10	14	10	9	6	19	120
合　計	346	290	333	285	335	316	421	419	341	330	301	373	4,090

ウ　ＩＰ１１９受信状況

（平成25年）

内容＼月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
火　災	0	0	1	1	1	1	4	1	2	0	0	1	12
救　急	222	177	177	152	183	166	176	170	161	157	157	211	2,109
救　助	0	1	0	1	1	2	1	2	1	0	1	1	11
他災害	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	5
いたずら	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	4
まちがい	8	7	8	8	8	8	2	5	8	5	1	9	77
問合せ	47	13	20	27	24	12	23	31	29	19	20	25	290
試　験	5	2	6	7	9	12	0	5	8	9	14	16	93
その他	20	26	30	15	19	11	13	14	22	22	21	21	234
転送送信	2	3	2	1	1	0	1	1	0	2	0	0	13
合　計	304	229	246	213	246	213	221	230	231	215	215	285	2,848

エ　その他の回線受信状況

（平成25年）

内容＼月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
火　災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救　急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救　助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いたずら	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
まちがい	5	2	5	6	1	2	3	1	1	2	2	2	32
問合せ	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
試　験	0	0	2	1	2	0	2	0	2	0	2	1	12
その他	65	43	62	67	50	58	57	93	89	78	80	92	834
転送送信	0	0	0	0	0	0	0	4	11	12	8	20	55
合　計	72	46	69	74	53	60	64	99	103	92	92	115	939

７　病院問い合わせ状況

（平成25年）

区分＼月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
内科	104	94	99	94	118	81	107	110	89	139	142	149	1,326
外科	37	36	54	37	53	42	44	50	39	68	59	67	586
小児科	52	52	60	66	83	69	88	81	69	88	94	114	916
特殊科	20	16	16	17	17	14	7	16	15	27	28	39	232
合計	213	198	229	214	271	206	246	257	212	322	323	369	3,060

筑紫野太宰府消防組合消防本部

〒818-0084
福岡県筑紫野市針摺西一丁目１番１号
TEL　092-924-5034
FAX　092-924-3397
URL　http://www.chikuta119.jp/